

平成30年

消防年報



令和元年刊行

福知山市消防本部

は し が き

この年報は、福知山市の消防現勢及び平成30年中の消防行政に関する実態を統計的に集録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く紹介するため編集したものです。

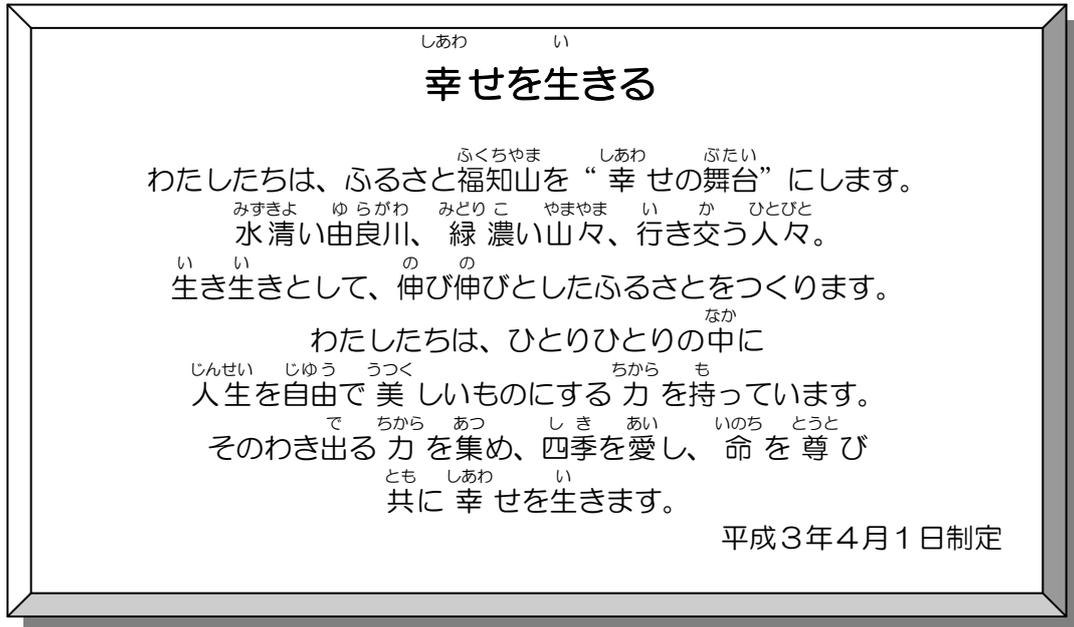
この年報により、本市の消防業務を御理解いただき、なお一層の御指導と御支援をいただきますようお願い申し上げます。

この年報のうち、予算関係は会計年度とし、それ以外のものについては、当該表に記載した年月日によるものです。

令和元年6月

福知山市消防本部

福知山市市民憲章



市民憲章とは

毎日の生活の中で、福知山市民一人ひとりの心のよりどころとなり、行動の礎になるよう定められた市民生活の規範となるものです。

この憲章には、よりよい地域づくり、魅力あるふるさとづくりのため、市民一人ひとりが、互いに助け合い思いやりあるあたたかいまちづくり、文化の香り高い魅力的なまちづくりをすすめる願いがこめられています。

憲章文の解説

“幸せ”とは何か。“わたし”は、どんな時、幸せを感じますか。どうすれば“みんな”が幸せを感じることができるでしょうか。幸せづくりについて考え、語りあい、励ましあって行動する、これがこの憲章文のテーマです。

まず、自分の人生を自由に美しいものにできるわたしから、幸せづくりをはじめましょう。そして、その幸せづくりを身近な人たちと一緒に広げましょう。一人ひとりから家族へ、地域へ、そして市全体へ、幸せづくりの輪を広げていきましょう。

そうすることが、みんなが“幸せを感じるまち”につながります。また、“みんなが誇れるまち”につながっていきます。

まずは、わたしから、身近なことから、幸せづくりをはじめましょう。



福 知 山 市

目 次

総 務

市勢	1
管内の情勢	2
福知山市位置・管内案内図	3
消防機構	4
消防庁舎の概要	4
消防の沿革	5
消防予算	12
消防職員の定員及び現在員数	13
消防職員階級別年齢状況、勤続年数	14
事務分掌	15
消防相互応援協定の締結状況	18

警 防

消防本部・署別消防自動車現勢一覧	19
消防水利の状況	20
救助活動のための機械器具等の保有状況	21

統 計

火災概要	23
累年火災比較（10年間）	24
署・分署別火災発生状況	25
地区別火災発生状況1	26
地区別火災発生状況2	27
月別火災発生状況	28
火災発生状況グラフ	29
曜日・時間別火災発生状況	30
曜日・時間別火災発生状況グラフ	31
気象別火災発生状況	32
火災原因別調べ	33
救急概要	34
署・分署別救急出動状況・搬送人員グラフ	35
月別救急活動状況	36
時間別事故種別搬送人員	37
年齢区分別事故種別搬送人員	38
傷病程度別性別事故種別搬送人員	39
傷病程度別年齢区分搬送人員	39

救急講習実施状況	40
過去10年間における救急出動の推移	41
救助概要	42

予 防

防火対象物の状況	43
建築同意事務署・分署別件数	44
建築同意事務業態別棟別件数	44
消防用設備等検査状況	45
危険物施設の状況	46
危険物申請の状況	47
危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱の数	47
手数料徴収状況	47
火災予防条例等各種届出件数	48
立入検査実施状況	48
防火指導状況	49
広報活動状況	49
幼年消防クラブ活動状況	49
福知山市防災センター来館者状況	49

通信指令課

覚知別集計	50
月別指令状況	51
ドクターヘリ要請件数	51
消防通信指令施設の現況	52
消防通信指令系統図	53

消 防 団

消防団の沿革	54
消防団員・消防車両配置表	59
年齢別消防団員数	59
在職年数別消防団員数	59

水 防

水防の概要	60
水防組織	63

【総務】

市 勢

【位 置】

由良川流域の福知山盆地にひらける福知山市は、京都府の北西部に位置し、西は兵庫県と接し、丹波・丹後・但馬により形成される「三たん地域」の中央部にあり、面積 552.54 k m²と京都府内では、京都市、南丹市に次いで 3 番目に広大な市域を有しています。

気候条件としては、日本海気候に属し、盆地特有の夏と冬・昼と夜の気温差が激しい気候となっています。

京都市と神戸市から直線で約 60km、大阪市からは約 70km の距離にあり、交通網の発展により京阪神へのアクセスも良好で、比較的日本海にも近い本市は、その地理的条件により、北近畿の交通の結節点となっています。

また、福知山駅および国道沿いに広がる市街地と、その周辺の農山村地域によって構成され、丹後天橋立大江山国定公園の大江山や三岳山などの山々、さらに由良川をはじめその支流である土師川、牧川、宮川などが流れており、整備された交通・都市基盤の美しい自然を兼ね備えています。

【沿 革】

福知山盆地には、古くは縄文時代から人が住んでいましたが、昭和 61 年広峯古墳群（古墳時代）から盤龍鏡が出土したことにより、古代において、出雲・丹後と畿内との接点に当たる福知山地方が、交通・文化などにおいて重要な位置を占めていたことがうかがえます。地理的には日本海と瀬戸内側を結ぶ中継地点として、歴史的には丹後・山陰と都を結ぶ主要街道の要衝として、山陰道の陸運の要所だけでなく由良川を通じて日本海沿岸ともつながる水運で栄えました。

天正 7 年（1579）年、織田信長の命で丹波を平定した明智光秀が福知山城を築き、関ヶ原の合戦後、有馬豊氏が城主となり城下町が整備され、以来、明治 4 年の廃藩置県まで 300 年近い間、江戸期を通じて城下町として繁栄しました。その当時の江戸時代のまち割りが今も残っています。

明治 22 年の町村制施行で福知山町が誕生し、同 31 年には陸軍歩兵第 20 連隊の駐屯が開始される一方、同 32 年大阪、同 43 年京都へとそれぞれ鉄道が開通し、北近畿の交通の要衝として、また“北近畿の商都＝商いのまち”として発展を遂げました。

戦後は、昭和 49 年に内陸工業団地として日本有数の規模を誇る長田野工業団地が完成し、新たな産業発展の基盤を形成するとともに、JR 線や京都丹後鉄道宮福線の電化、舞鶴若狭自動車道や国道 9 号線土師バイパスの整備、また国道 175 号や国道 176 号など多くの国道が交わり、北近畿の交通の要衝とし機能がより高まっています。

一方、こうした広域交通体系の整備と並行して、昭和 29 年から土地区画整備事業や下水道事業、都市計画道路等の整備を先進的に取組んでおり、特に 21 世紀のまちづくりの核となる福知山駅周辺地域においては、新たな都市地区形成を図るため、駅付近連続立体交差事業や駅周辺土地区画整理事業を進めるなど、北近畿の玄関口として、恵まれた自然環境を生かしながら「北近畿をリードする中核都市」作りを目指し、交通・通信の拠点として積極的に都市基盤の充実を図ってき

ました。

平成 18 年 1 月 1 日に三和町、夜久野町及び大江町と合併、新しい「福知山市」がスタートして、恵まれた自然環境を生かしながら「未来創造福知山」多様性のあふれる高次機能都市の実現をめざして、北近畿の中核都市としてのまちづくりを進めています。

また、防災面では、『消防機能』のほか『市民防災研修機能』『災害対策機能』を併せ持つ消防防災の拠点施設『福知山市消防防災センター』を整備、平成 24 年 5 月 1 日より運用を開始しており、『いのちと暮らしを守るやすらぎのまち』を創るため、過去の災害を忘れず、市民のみなさんとともに災害に強いまちづくりを推進しています。

管内の情勢

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

	面積 (k m ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
福知山市	5 5 2, 5 4	7 7, 7 4 3	3 5, 9 8 0
消防職員一人あたりの割合 (職員数 1 2 9 人)	4. 2 8	6 0 2. 6 6	2 7 8, 9 1

周囲 (km)	広ぼう (km)		海拔 (m)		市役所の位置	
	東西	南北	最高	最低	東経	北緯
174. 2	37. 1	34. 3	839. 17	7. 11	135° 07'	35° 17'

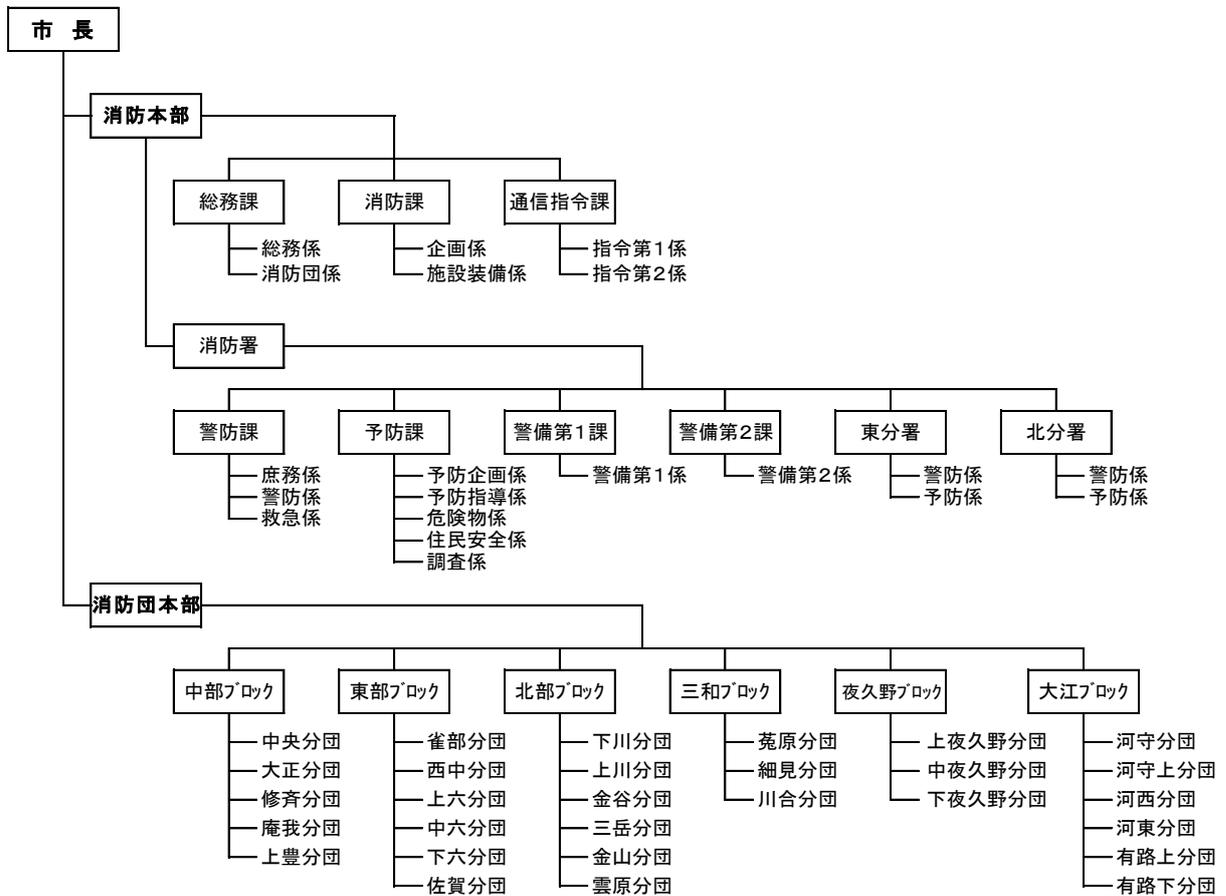
市の木	市の花	市の鳥	キャラクター
ケヤキ	サツキ	ウグイス	ドッコちゃん
カシ	キキョウ	キジ	
ヒノキ	ハギ		酒吞童子
ウメ	レンゲツツジ		
	フジ		

福知山市位置・管内案内図

面積	552.54 km ²
周囲	174.20 km
海拔	839.17 m (最高) 7.11 m (最低)
総人口	77,743人
世帯数	35,980世帯
(人口・世帯数は平成31年4月1日現在)	



消防機構



消防庁舎の概要

	所在地	構造等	敷地面積	建築年月	その他
福知山市消防本部	福知山市東羽合町 46-1 福知山市 消防防災センター	庁舎棟 鉄骨造2階建 延 3,109 m ² 訓練棟他 付属建物 延 1,047 m ²	25,149 m ²	H24.3	消防防災 訓練場
福知山消防署					防災ヘリ ポート
指令センター					
防災センター					防災広場
福知山消防署 東分署	福知山市長田野町 三丁目 12-2	鉄筋コンクリート造 2階建 延 772.82 m ²	25,235 m ²	S56.9	訓練場
福知山消防署 北分署	福知山市字牧 471-1	鉄筋コンクリート造 2階建 延 473.52 m ²	1,710 m ²	S56.9	訓練場

消防の沿革

(平成 31 年 4 月 1 日)

○昭和 23 年 1 月 6 日	中ノ町に福知山市消防団常置消防部を設ける ポンプ車 2 台 定員 15 名
〃 7 月 4 日	職員 4 名増員 実員 19 名
○昭和 24 年 5 月 31 日	職員 6 名増員 実員 25 名
〃 8 月 18 日	福知山市消防本部を設置し、庶務・予防・消防の 3 係を置く
〃 12 月 15 日	2,000ℓ水槽付ポンプ車を購入配置
○昭和 25 年 8 月 19 日	小牧大火 集落の 3 分の 1、16 戸全焼 (2,300 m ²)、損害額 12,437 千円
〃 11 月 23 日	指令車 (トヨタクラウン) を購入配置
〃 12 月 20 日	1,500ℓ水槽付ポンプ車を購入配置 タンク車 2 台、普通ポンプ車 1 台
○昭和 26 年 4 月 11 日	職員 7 名増員 実員 32 名
○昭和 28 年 9 月 25 日	台風 13 号襲来 由良川水位 8.1m に達し市街地全域が水没し、死者 4 名、重軽傷者 788 名、家屋の流失 55 戸、家屋の全壊 428 戸、半壊 1,181 戸、床上浸水 3,641 戸 (内 2 階浸水 3,202 戸)、床下浸水 195 戸、その他被害総額 6,649,424 千円
○昭和 29 年 4 月 1 日	職員 2 名増員 実員 34 名
○昭和 30 年 4 月 1 日	消防本部に消防署を併設 1 署 3 係
〃 4 月 1 日	上六人部、中六人部、下六人部、上川、金谷、三岳、金山、雲原の 8 ヶ村合併により、面積 254.93k m ² 、人口約 61,000 人
○昭和 31 年 3 月 31 日	ジープ型ポンプ車を購入配置 国消 FM-1 型無線を配置
〃 9 月 30 日	佐賀村分村合併により、面積 264.24k m ² 、人口 63,220 人
○昭和 34 年 9 月 26 日	伊勢湾台風 由良川水位 7.1m に達し、重軽傷者 26 名、家屋の流失 4 戸、全壊 6 戸、半壊 103 戸、床上浸水 3,473 戸、床下浸水 1,644 戸、その他被害総額 1,164,566 千円
○昭和 35 年 3 月 5 日	普通ポンプ車を購入配置 (更新)
○昭和 36 年 9 月 16 日	第二室戸台風 瞬間最大風速 43m を記録し、死者 3 名、重軽傷者 6 名を出し、家屋の全壊 9 戸、半壊 67 戸、その他被害総額 162,482 千円
○昭和 37 年 5 月 8 日	内記五丁目大火 全焼 12 戸、半焼 3 戸、部分焼 6 戸、農機工場より出火、焼失面積 2,393 m ² 、損害額 23,911 千円
〃 5 月 8 日	技術吏員 1 名増員し、危険物規制事務開始 実員 35 名
〃 11 月 20 日	福知山市字天田小字中長戸 76 番地に、鉄筋コンクリート 2 階建庁舎を建設し業務を開始
〃 12 月 20 日	日本損害保険協会よりポンプ車の寄贈を受ける
○昭和 40 年 3 月 31 日	小牧大火 全焼 7 戸、部分焼 2 戸、焼失面積 782 m ² 、損害額 8,732 千円
○昭和 42 年 12 月 4 日	消防法の改正に基づき、救急業務を開始 (救急車を購入配置) 職員 4 名増員 実員 39 名
○昭和 45 年 3 月 4 日	大槻内科医院より自動二輪車 4 台寄贈を受ける
〃 4 月 1 日	職員 1 名増員 実員 40 名

○昭和 45 年 11 月 13 日	大型ポンプ車を購入配置（更新）
○昭和 46 年 4 月 1 日	職員 3 名採用 実員 40 名
○昭和 47 年 3 月 15 日	日本自動車工業会より大型救急車の寄贈を受ける
○昭和 48 年 10 月 1 日	職員 3 名増員 実員 43 名
〃 12 月 13 日	新町大火 全焼 13 戸、半焼 2 戸、部分焼 8 戸、り災世帯 10 世帯、り災人員 43 名、 焼失面積 1,929 m ² 、損害額 60,708 千円 消防ポンプ自動車（BD-I 型）を購入配置（更新）
○昭和 49 年 2 月 13 日	内記六丁目大火 全焼 6 戸、半焼 1 戸、部分焼 1 戸、り災世帯 8 世帯、り災人員 35 名、死者 1 名、負傷者 2 名、焼失面積 730 m ² 、損害額 28,130 千円
〃 4 月 1 日	消防職員 7 名増員 実員 50 名
〃 5 月 10 日	日本損害保険協会よりタンク車の寄贈を受ける
〃 5 月 23 日	指令車（トヨタクラウン）を購入配置（更新）
〃 7 月 1 日	本部機構改革、2 課 5 係
○昭和 50 年 2 月 27 日	化学車（Ⅲ型）を購入配置 消防ポンプ自動車（BD-I 型）を購入配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 4 名増員 実員 54 名
○昭和 51 年 2 月 6 日	農協共済より救急車（2B）の寄贈を受ける
〃 5 月 13 日	内記四丁目大火 全焼 7 戸、部分焼 3 戸、り災世帯 3 世帯、り災人員 20 名、焼失 面積 1,267 m ² 、損害額 19,793 千円
〃 6 月 14 日	消防本部、団本部を新市庁舎へ移す
〃 7 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 55 名
○昭和 52 年 4 月 1 日	消防職員 1 名増員 実員 56 名
〃 7 月 19 日	指揮車（ニッサンセドリックバン）を購入配置
○昭和 53 年 4 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 56 名
〃 10 月 1 日	消防職員 2 名増員 実員 58 名
○昭和 54 年 3 月 26 日	原動機付自転車 2 台を購入配置
〃 3 月 31 日	福知山消防署庁舎改修
〃 8 月 1 日	林野火災用小型ポンプを購入配置
○昭和 55 年 1 月 23 日	普通消防ポンプ自動車（BD-I 型）を購入配置
〃 3 月 11 日	日本損害保険協会より救急自動車（3B）の寄贈を受ける
〃 8 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 58 名
○昭和 56 年 1 月 23 日	一市三町広域消防調印式挙行
〃 3 月 9 日	普通消防ポンプ自動車（CD-I 型）を購入配置（更新）
〃 3 月 31 日	救急車を購入配置する
〃 4 月 1 日	一市三町広域消防体制発足（事務委託方式） 消防職員 21 名増員 実員 79 名
〃 9 月 11 日	福知山市長田野町三丁目 12 番地の 2 福知山消防署東分署庁舎完成 （RC造 2 階建延床面積 772.82 m ² ） 福知山市字牧 471 番地の 2 福知山消防署北分署庁舎完成 （RC造 2 階建延床面積 419.81 m ² ）
〃 9 月 21 日	日本消防協会より救急車・広報車の寄贈を受け、北分署に配置
〃 9 月 24 日	普通消防ポンプ自動車（BD-I 型）を 2 台購入、2 分署に配置

○昭和 56 年 9 月 30 日	広報車を購入し、東分署に配置
〃 10 月 1 日	2 分署開設し、業務開始（分署長以下 13 名×2 分署）
〃 11 月 20 日	消防ポンプ自動車（BD-I 型）を購入配置（更新）
〃 12 月 1 日	福知山ライオンズクラブから事務連絡車（スズキアルト）の寄贈を受ける
○昭和 57 年 3 月 24 日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、東分署に配置
〃 4 月 1 日	消防職員 4 名増員 実員 83 名
〃 12 月 11 日	はしご付消防ポンプ自動車（24m 級）を購入し消防署に配置
○昭和 58 年 3 月 31 日	小型動力ポンプ（C-1 級）を購入し、2 分署に配置
〃 4 月 1 日	消防職員 2 名増員 実員 85 名
〃 9 月 26 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（BD-I 型）の寄贈を受ける
〃 9 月 29 日	消防ポンプ自動車（BD-I 型）を購入配置（更新）
○昭和 59 年 3 月 30 日	救助工作車を購入し、消防署に配置
〃 3 月 31 日	指令車（ニッサンセドリック）、救急車（2B 型）を購入配置（更新）
〃 8 月 31 日	隣接 5 消防組合と消防相互応援協定を締結
○昭和 60 年 4 月 1 日	本部機構改正、3 係を置く 消防職員 4 名採用 実員 85 名
○昭和 61 年 3 月 4 日	水槽付消防ポンプ自動車（水-II 型 A 級）を購入し、消防署に配置（更新）
〃 3 月 5 日	消防庁長官表彰旗受賞
○昭和 62 年 1 月 17 日	日本自動車工業会より救急車（2B 型・4WD）の寄贈を受ける
〃 3 月 18 日	舞鶴自動車道、消防救急業務体制発足
〃 4 月 1 日	消防職員 5 名増員 実員 90 名
○昭和 63 年 4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 91 名
〃 5 月 24 日	2 時 36 分 西中ノ町建物火災、3 時 50 分 駅前町建物火災（道草横町）、両火災で全焼 2 戸、半焼 5 戸、部分焼 3 戸、り災世帯 8 世帯、り災人員 23 名、焼失面積 709 m ² 、損害額 47,302 千円
〃 10 月 5 日	消防指揮車を購入し、消防署に配置（更新）
○平成元年 12 月 4 日	消防ポンプ自動車（CD-I 型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新） 日本防火協会より広報車（ニッサンキャラバン）の寄贈を受ける
○平成 2 年 3 月 31 日	日本自動車工業会より救急車（2B 型・4WD）の寄贈を受ける
〃 4 月 1 日	消防職員 1 名採用 実員 91 名
〃 5 月 1 日	消防職員 1 名増員 実員 92 名
○平成 3 年 4 月 1 日	消防職員 4 名採用 実員 92 名
〃 6 月 25 日	JR 福知山線「岡踏切」列車事故 重症者 3 名、中等症者 16 名、軽症者 290 名
〃 8 月 20 日	北京都信用金庫より救急車（2B 型・4WD）の寄贈を受ける
○平成 4 年 2 月 5 日	水槽付消防ポンプ自動車（水-II 型 A 級）を購入し、東分署に配置
〃 4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 93 名
〃 10 月 16 日	福知山危険物安全協会より連絡車（三菱ミニカ）の寄贈を受ける
〃 11 月 25 日	消防ポンプ自動車（CD-I 型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 5 年 1 月 30 日	広報車（ニッサンセレナ）を購入し、北分署に配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 94 名

平成 5年	4月26日	国際ソロプチミスト福知山より救急車（2B型）の寄贈を受ける
"	7月1日	職員定員104名とする
"	9月1日	烏ヶ岳山頂消防無線基地局運用開始
"	9月17日	消防職員4名増員 実員98名
"	9月30日	日本損害保険協会より化学車（Ⅱ型）の寄贈を受ける
"	11月11日	広報車（トヨタマークⅡ）を購入し、東分署に配置（更新） 消防ポンプ自動車（CD-I型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 6年	4月1日	消防職員3名採用（内1名増員） 実員99名
"	5月18日	救急救命士1名資格取得
○平成 7年	1月18日	兵庫県南部地震による応援出動（～26日）
"	1月23日	指令車（トヨタクラウン）を購入し、消防本部に配置（更新）
"	2月14日	消防団員に対する応急手当普及員講習開講
"	4月1日	消防職員3名採用（内2名増員） 実員101名
"	5月12日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計2名
○平成 8年	1月22日	消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し、東分署に配置（更新）
"	3月11日	高規格救急車を購入し、消防署に配置（高度救急業務運用開始）
"	4月1日	消防職員1名採用 実員101名 本部・署機構改正 本部2係・署2課1室6係となる
"	4月30日	査察車（トヨタカリブ）寄贈を受ける
"	5月17日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計3名
"	11月14日	消防署通信指令室併用福知山市防災センター増築工事着手
"	12月3日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計4名
○平成 9年	4月1日	消防職員3名採用 実員102名
"	5月19日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計5名
"	5月26日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計6名
"	10月12日	自治体消防制度50周年、市制施行60周年記念行事（消防フェア福知山）開催
"	12月22日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計7名
"	12月28日	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、消防署に配置
○平成 10年	3月3日	福知山市防災センター竣工
"	4月1日	消防緊急通信指令施設（Ⅰ型）運用開始 消防無線第2市波運用開始 携帯電話からの119番通報受信体制整備（代表受信消防本部）
"	5月25日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計8名
"	8月27日	北分署改修工事着手
"	11月26日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計9名
○平成 11年	4月1日	消防職員3名採用 実員102名 本部・署機構改正 本部2係・署2課1室2分署12係となる
"	5月14日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計10名
"	7月1日	高規格救急車（ニッサンパラメディック）を購入し、北分署に配置
"	12月8日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計11名
○平成 12年	3月7日	消防広報誌「火の用心」創刊
"	4月1日	消防職員2名採用 実員102名
"	5月16日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計12名
○平成 13年	1月22日	福知山市消防本部・福知山市消防団「ホームページ」を開設
"	3月1日	福知山市消防出初式「写真コンテスト」を始める

○平成13年	3月22日	消防資材搬送車（トヨタタウンエース）寄贈を受ける
〃	3月23日	救助工作車を購入し、消防署に配置（更新）
〃	11月20日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計13名
○平成14年	2月28日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-A型）を購入し、消防署に配置（更新）
〃	12月16日	はしご付消防ポンプ自動車（30m級水路付）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成15年	4月1日	消防職員2名（内1名救急救命士資格取得者）採用 実員102名 救急救命士 計14名
〃	12月1日	消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成16年	2月23日	第1回自主防火・防災リーダー養成講座実施
〃	4月1日	消防職員1名採用 実員102名 予防課に住民安全係を設置。本部2係、署2課1室2分署13係となる
〃	4月2日	指揮隊車（ニッサンキャラバン）寄贈を受ける
〃	5月12日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計15名
〃	9月11日	「救急フェア」開催
〃	10月20日 ～21日	「台風23号災害」半壊・一部損壊63戸、浸水家屋844戸 被害額4,421,498千円。由良川水位7.55mに達する
〃	11月13日	IP電話（ケイオプティコム）からの119番通報受信開始
〃	11月26日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計16名
○平成17年	2月14日	IP電話（日本テレコム）からの119番通報受信開始
〃	3月29日	高規格救急自動車（ニッサンパラメディック）を購入し東分署に配置（更新）
〃	4月1日	消防職員2名採用 実員102名
〃	5月12日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計17名
〃	6月11日	消防団緊急伝達システム 運用開始
〃	8月29日	IP電話（平成電電）からの119番通報受信開始
〃	10月1日	IP電話（KDDI）からの119番通報受信開始
○平成18年	1月1日	福知山市と三和町、夜久野町及び大江町が合併。広域受託消防体制を解消
〃	1月10日	IP電話（NTT西日本）からの119番通報受信開始
〃	2月2日	携帯電話119番通報 直接受信開始
〃	4月1日	消防職員3名採用 実員104名
〃	10月29日	第1回自主防火・防災リーダー中級講座実施
〃	12月21日	IP電話（平成電電）からの119番通報受信終了
○平成19年	2月1日	消防ポンプ自動車（水槽付CD-I型）を購入し、北分署に配置
〃	4月1日	消防職員2名採用 実員103名
〃	4月1日	予防技術資格者認定制度開始
〃	10月1日	携帯電話・IP電話発信位置表示通知システム導入
〃	10月14日	市制施行70周年、福知山市消防団発足60周年及び救急業務運用開始40周年記念事業（消防防災フェア）開催
○平成20年	4月1日	消防職員5名採用 実員104名
〃	9月3日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計18名
〃	11月8日	住宅用火災警報器普及啓発キャラクター「予防戦士 ジューケイキマン」誕生
○平成21年	3月23日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し消防署に配置（更新）
〃	4月1日	消防職員2名採用 実員104名
〃	4月22日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計19名
〃	4月24日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計20名

○平成 22 年 4 月 1 日	消防職員定数 130 名とする 消防職員 12 名採用 実員 110 名
〃 4 月 13 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 21 名
〃 4 月 17 日	公立豊岡病院ドクターヘリ運航開始
〃 5 月 11 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 22 名
〃 6 月 1 日	消防ポンプ自動車（CD-1 型）を購入し、東分署に配置（更新）
〃 10 月 14 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）の寄贈を受ける
○平成 23 年 3 月 1 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、東分署に配置（更新）
〃 3 月 11 日	東日本大震災発生に伴い、緊急消防援助隊として出動（～4 月 2 日）
〃 4 月 1 日	消防職員 8 名採用 実員 114 名 北分署機構改正。増員（分署長以下 22 名）、および昨年度寄贈の高規格救急自動車を配置し、救急 2 隊運用を開始する
○平成 24 年 3 月 29 日	福知山市東羽合町 46 番地の 1 に、鉄骨造 2 階建庁舎「福知山市消防防災センター」竣工
〃 3 月 30 日	「福知山市防災広場」竣工
〃 4 月 1 日	消防職員 6 名採用（内 1 名救急救命士資格取得者） 実員 117 名
〃 4 月 10 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 25 名
〃 4 月 25 日	消防緊急通信指令施設を「高機能消防指令システム」に更新、運用開始
〃 5 月 1 日	消防本部・消防署・消防団本部を福知山市東羽合町 46 番地の 1 「福知山市消防防災センター」に移す 「福知山市消防防災センター」及び「福知山市防災広場」の運用開始
○平成 25 年 1 月 17 日	消防防災センター来館者が 1 万人に達する
〃 3 月 6 日	総務省消防庁より緊急消防援助隊後方支援隊用車両として機動装備車の無償貸与を受ける
〃 2 月 14 日	下紺屋町建物火災、全焼 6 棟、部分焼 6 棟、ぼや 1 棟、り災人員 20 名、焼失面積 802 m ²
〃 4 月 1 日	消防職員 10 名採用（内 6 名増員） 実員 123 名 救急救命士 実員 24 名 消防職員 1 名を京都府立消防学校教官として派遣する（2 年間）
〃 8 月 15 日	福知山花火大会会場で火災事故発生 死者 3 名 負傷者 56 名
〃 9 月 15 日	「台風 18 号災害」全壊 2 棟、半壊 311 棟、床下浸水 356 棟、大規模半壊 19 棟、一部損壊・床上浸水 423 棟、由良川水位 8.3m に達する
〃 10 月 24 日	京都府立消防学校北部訓練拠点開設式 京都府北部地域消防団員等の訓練拠点として消防防災センターの供用を開始
○平成 26 年 4 月 1 日	消防職員 5 名採用（内 1 名増員） 実員 124 名 救急救命士 実員 25 名 消防署に指揮隊車を配置し、24 時間常駐の指揮隊の運用を開始する 消防救急デジタル無線運用開始
〃 8 月 16 日	「8 月豪雨災害」16 日～17 日にかけて降り続いた観測史上最大の雨による内水被害の発生 4,500 棟が浸水
○平成 27 年 1 月 29 日	消防団簡易デジタル無線整備
〃 3 月 27 日	水槽付消防ポンプ自動車（1-A 型）を購入し、消防署に配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 8 名採用（内 1 名増員） 実員 125 名
〃 4 月 13 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 26 名 消防本部機構改革 本部 4 課 8 係、署 4 課 2 分署 13 係となる
〃 7 月 14 日	e-ラーニング方式による救急講習を開始
〃 9 月 9 日	福知山市救急まちかど安心ステーション開設

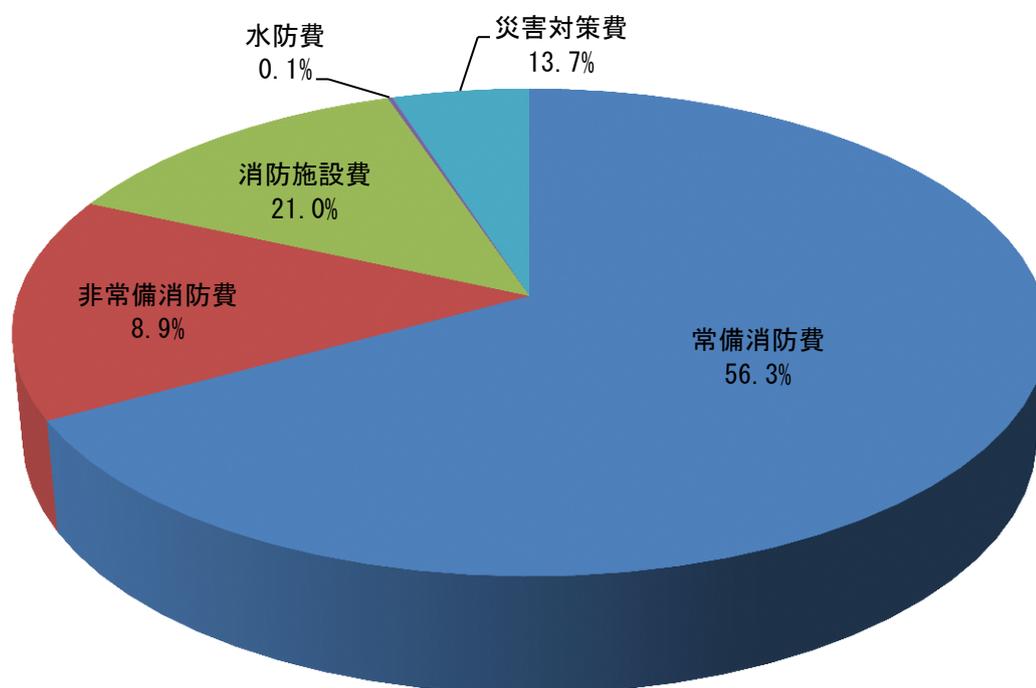
○平成 28 年	1 月 18 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、消防署に配置（更新）
"	3 月 25 日	指令車（トヨタノア）を購入し、消防本部に配置（更新）
"	4 月 1 日	消防職員 6 名採用（内 1 名増員、内 1 名救急救命士資格取得者） 実員 126 名 救急救命士 実員 26 名 消防署機構改革 4 課 2 分署 12 係となる
"	4 月 8 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 27 名
"	4 月 16 日	熊本地震発生に伴い、緊急消防援助隊として出動（～ 4 月 22 日）
"	11 月 6 日	消防防災センターオープン 5 周年「ふくちやま消防防災フェア」開催
○平成 29 年	3 月 29 日	消防防災センター来館者が 5 万人に達する
"	4 月 1 日	消防職員 6 名採用（内 4 名増員） 実員 129 名
"	4 月 10 日	災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-I 型）を購入し、消防署北分署に配置（更新）
"	5 月 22 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 27 名
"	9 月 17 日	「台風 18 号災害」一部損壊・床上浸水 5 棟、床下浸水 29 棟
"	9 月 22 日	支援車を購入し、消防署に配置（更新）
"	10 月 22 日	「台風 21 号災害」半壊 12 棟、一部損壊・床上浸水 77 棟、床下浸水 92 棟
○平成 30 年	4 月 1 日	消防職員 5 名採用（内 1 名増員、内 1 名救急救命士資格取得者） 実員 130 名 救急救命士 実員 28 名 消防本部機構改革 本部 3 課 6 係、署 4 課 2 分署 14 係となる
"	4 月 10 日	救急救命士 2 名資格取得 救急救命士 計 30 名
"	7 月 3 日	「7 月豪雨災害」 全壊 5 棟 半壊 39 棟 一部損壊・床上浸水 208 棟 床下浸水 493 棟
"	7 月 31 日	7 月豪雨災害発生に伴い、緊急消防援助隊として出動（～ 8 月 1 日：広島県広島市）
○平成 31 年	2 月 18 日	救助工作車を購入し、消防署に配置（更新）
"	2 月 22 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、東分署に配置（更新）
"	4 月 1 日	消防職員 5 名採用 実員 129 名／定数 130 名 救急救命士 実員 29 名

消防予算（当初予算）

1 一般会計と消防予算

予 算 額（千円）					
年 度	平成 31 年度	平成 30 年度	平成 29 年度		
一般会計予算	41,600,000	40,440,000	39,480,000		
消防費予算	1,894,256	1,746,324	1,443,366		
比	4.6%	4.3%	3.7%		
内訳	常備消防費	1,065,419	1,059,527	1,053,855	
	非常備消防費	167,681	228,745	173,193	
	その他	消防施設費	398,330	396,719	184,990
		水防費	2,491	2,491	2,609
		災害対策費	260,335	58,842	28,719

2 平成 31 年度 消防予算の内訳



消防職員の定員及び現在員数

(平成31年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
定員	条 例 定 数								130
実員	1	3	23	20	47	0	34	1	129

消防職員の配置表

(平成31年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計	
合 計	1	3	23	20	47	0	34	1	129	
消防本部	消防長	1							1	
	総務課	次長兼課長		1						1
		総務係				1	1		1	3
		消防団係				1	1	1		3
	消防課	課長			1					1
		企画係			1		1			2
		施設装備係			1		1			2
	通信指令課	次長兼課長		1						1
		指令第1係			1	1	1	1		4
指令第2係				1	2		1		4	
消防署	次長兼署長		1						1	
	警防課	課長			1					1
		担当課長			1					1
		庶務係			1	2	1			4
		警防係			1		5	2		8
		救急係				1	5	2		8
	予防課	課長			1					1
		担当課長			1					1
		課長補佐			1					1
		予防企画係				1	2			3
		予防指導係				2	4	1		7
		住民安全係				1	4	3		8
		危険物係				1	1	1		3
		調査係				2	1	2		5
	警備第1課			2	(4)	(10)	(5)		2(19)	
警備第2課			2(1)	(2)	(11)	(5)		2(19)		
東分署	分署長			1					1	
	警備第1係			1	(1)	(5)	(4)		1(10)	
	警備第2係			1	(1)	(5)	(4)		1(10)	
	警防係				1	6	1		8	
	予防係			1	1	4	7		13	
北分署	分署長			1					1	
	警備第1係			1	(1)	(5)	(4)		1(10)	
	警備第2係			(1)	1(1)	(4)	(4)		1(10)	
	警防係				2	6	6		14	
	予防係			1		3	2		6	
初任教育入校						4		4		

※ () は、兼務人数を表す。

消防職員階級別年齢状況

(平成31年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
20才未満									0
20才以上 24才以下					2		16		18
25才以上 29才以下					11		15		26
30才以上 34才以下					19				19
35才以上 39才以下					14		3		17
40才以上 44才以下			1	7	1			1	10
45才以上 49才以下			7	9					16
50才以上 54才以下		1	5	3					9
55才以上	1	2	10	1					14
合計	1	3	23	20	47	0	34	1	129
平均年齢	57.00	56.67	52.04	46.10	31.96		25.50	40.00	36.86

消防職員階級別勤続年数

(平成31年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
5年未満							29	1	30
5年以上 10年未満					31		5		36
10年以上 15年未満					13				13
15年以上 20年未満				2	3				5
20年以上 25年未満			2	6					8
25年以上 30年未満			6	10					16
30年以上	1	3	15	2					21
合計	1	3	23	20	47	0	34	1	129
平均勤続年数	32.00	38.00	31.65	24.65	9.13		2.65	2.00	14.64

事務分掌

【消防本部事務分担当表】

総務課

- 1 公印の管守及び文書の收受発送に関する事。
- 2 職員の任免、服務、表彰、分限、懲戒その他人事に関する事。
- 3 職員の給与に関する事。
- 4 職員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 5 消防職員委員会に関する事。
- 6 職員の公務災害補償に関する事。
- 7 消防団に関する事。
- 8 消防長会及び他都市等との調整に関する事。
- 9 福知山市事務分掌条例施行規則第4条第2項に規定する部の管理主管課の共通事務に関する事。

消防課

- 1 文書の收受発送に関する事。
- 2 消防施策の立案及び調整に関する事。
- 3 消防に関する条例、規則、規程その他法制に関する事。
- 4 消防行政の広報に関する事。
- 5 消防施設整備事業の計画及び実施に関する事。
- 6 応援協定及び緊急消防援助隊に関する事。
- 7 水防計画に関する事。
- 8 その他消防業務に関する事。

通信指令課

- 1 文書の收受発送に関する事。
- 2 災害通報の受付及び指令管制業務に関する事。
- 3 消防通信の運用に関する事。
- 4 気象情報及び災害情報に関する事。
- 5 災害発生時の関係機関との連絡調整に関する事。
- 6 消防指令施設及び消防通信施設の保安全管理及び技術指導に関する事。
- 7 消防隊等の出動計画に関する事。
- 8 非常招集に関する事。
- 9 消防通信の高度化に関する事。
- 10 消防統計に関する事。
- 11 その他通信指令業務に関する事。

【消防署事務分担当表】

警防課

- 1 公印の管守及び文書の收受発送に関する事。
- 2 消防署員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 3 福知山市消防防災センターの庁舎管理に関する事。
- 4 警防訓練に関する事。
- 5 消防関係団体に関する事。
- 6 消防機械器具の保守管理に関する事。
- 7 消防地理水利に関する事。
- 8 消防相互応援協定及び緊急消防援助隊の運用に関する事。
- 9 消防団に関する事。
- 10 火災・救急・救助業務に関する事。

- 11 救急搬送証明書の交付に関する事。
- 12 消防署の他の課の主管に属さない事。

予防課

- 1 文書の收受発送に関する事。
- 2 火災予防対策に関する事。
- 3 予防に関する条例、規則、規程その他法制に関する事。
- 4 防火・防災管理者に関する事。
- 5 予防査察及び防火指導に関する事。
- 6 予防広報に関する事。
- 7 災害時要配慮者に対する防火指導に関する事。
- 8 違反処理に関する事。
- 9 消防用設備等の設置及び維持管理指導に関する事。
- 10 建築物の確認同意事務に関する事。
- 11 危険物製造所等の許認可に関する事。
- 12 危険物保安監督者等の指導に関する事。
- 13 危険物及び指定可燃物の規制に関する事。
- 14 ガス、火薬等特殊物質の防火指導に関する事。
- 15 自主防災組織等の育成に関する事。
- 16 消防関係団体に関する事。
- 17 火災統計に関する事。
- 18 火災調査に関する事。
- 19 リ災証明書の交付に関する事。
- 20 福知山市防災センターの運営・管理に関する事。
- 21 その他予防業務に関する事。

警備第1課、警備第2課

- 1 災害現場活動に関する事。
- 2 現場指揮及び安全管理に関する事。
- 3 警防計画等の策定及び対策に関する事。
- 4 事業所等の警防・防火指導に関する事。
- 5 水難救助に関する事。
- 6 火災調査に関する事。
- 7 その他消防署長が必要と認める事。

分署

- 1 文書の收受発送に関する事。
- 2 分署員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 3 分署員の教養訓練に関する事。
- 4 庁舎管理に関する事。
- 5 消防機械器具の保守管理に関する事。
- 6 消防地理水利に関する事。
- 7 火災・救急・救助業務に関する事。
- 8 消防団に関する事。
- 9 火災予防対策に関する事。
- 10 予防査察及び防火指導に関する事。
- 11 防火・防災管理者に関する事。
- 12 予防広報に関する事。

- 13 災害時要配慮者に対する防火指導に関する事。
- 14 消防用設備等の設置及び維持管理指導に関する事。
- 15 建築物の確認同意事務に関する事。
- 16 危険物及び指定可燃物の規制に関する事。
- 17 ガス、火薬等特殊物質の防火指導に関する事。
- 18 自主防災組織等の育成に関する事。
- 19 その他分署長が必要と認める事。

消防相互応援協定の締結状況

(平成 31 年 3 月 31 日)

協定名	協定市町名	協定年月日	協定事項
両 丹 都 市 消防相互応援協定	舞鶴市 綾部市 宮津市 京丹後市 伊根町 与謝野町 宮津与謝消防組合	平成 21 年 2 月 1 日	市域間における 消防・救急業務
消 防 相 互 応 援 に 関 する 協 定	京都中部広域 消防組合	平成 20 年 4 月 1 日	常 備 消 防 に お け る 消 防 ・ 救 急 業 務
”	豊岡市	平成 18 年 1 月 1 日	市域間における 消防・救急業務
”	南但広域 行政事務組合	平成 25 年 4 月 1 日	”
”	丹波市	平成 19 年 1 月 1 日	”
”	篠山市	平成 11 年 4 月 26 日	”
京 都 府 広 域 消 防 相 互 応 援 協 定	京都府 26 市町村 ・ 4 消防組合	平成 19 年 3 月 12 日	大 規 模 災 害 及 特 殊 災 害 等
舞鶴若狭自動車道 に お け る 消 防 相 互 応 援 協 定	敦賀美方消防組合 若狭消防組合 舞鶴市 綾部市 丹波市 篠山市 三田市 三木市 神戸市	平成 30 年 4 月 5 日	高 速 道 路 に お け る 火 災 ・ 救 急 及 び 救 助 業 務

【警 防】

消防本部・署別自動車現勢一覧

(平成31年4月1日)

所属	名称	種別	車名・型式	登録年月日	定員	備考
本部	指令車	指令車	トヨタ DBA-ZRR85G	H28.3.24	8	
消防署	ポンプ1号車	ポンプ車	三菱 KK-FG72EC	H15.11.26	5	CD-I型
	ポンプ2号車	ポンプ車	日野 BDG-XZU378M	H19.1.25	5	CD-I型
	ポンプ5号車	ポンプ車	三菱 KC-FG538D	H8.1.19	6	CD-I型
	タンク1号車	水槽付ポンプ車	日野 SDG-GX7JGAA改	H27.3.5	6	水I-A型 圧縮泡消火装置付き
	救助工作車	救助工作車	日野 2KG-GX2ABA	H31.1.10	6	
	梯子車	梯子付ポンプ車	日野 KL-PR4FPHF	H14.12.12	6	30m級
	機動装備車	機動装備車	三菱 TKG-FGB70	H25.2.21	3	
	救急1号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H28.1.8	7	高規格
	救急2号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H21.3.10	7	高規格
	指揮隊車	指揮隊車	トヨタ CBF-TRH216K	H26.3.24	5	
	支援車	支援車	ニッサン DBA-NT32	H29.9.19	5	
	軽積載車	軽積載車	スズキ M-DB51T改	H3.2.27	4	
	資材搬送車	資材搬送車	ニッサン T-UF22改	H2.11.15	6	
	広報車	広報車	スズキ CBA-MH21S	H16.7.30	4	
	防火指導車	防火指導車	ホンダ DBA-JF2	H24.9.14	4	
	査察車	査察車	ダイハツ DBA-LA600S	H29.4.27	4	
救援車	救援車	トヨタ CBA-TRH214W	H16.12.16	10		
搬送車	搬送車	トヨタ CBF-TRH228B	H18.5.26	15		
東分署	ポンプ3号車	ポンプ車	日野 BDG-XZH378M	H22.5.24	6	CD-I型
	タンク2号車	水槽付ポンプ車	日野 KK-FD1JEDA改	H14.2.20	7	水I-A型
	化学車	化学ポンプ車	ニッサン U-CM87EE改	H5.9.17	7	II型
	救急3号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H31.2.12	7	高規格
	救急5号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H23.2.17	7	高規格
	東指揮広報車	広報車	ニッサン LC-VPE25	H16.3.23	9	
	東資材搬送車	資材搬送車	トヨタ KF-CM85	H13.3.19	3	
北分署	ポンプ4号車	ポンプ車	日野 TKG-XZU685M	H29.3.23	5	CD-I型 圧縮泡消火装置付き
	救急4号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H22.4.27	7	高規格
	救急6号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H22.10.6	7	高規格
	北指揮広報車	広報車	ニッサン UA-NT30	H17.11.18	5	
	北資材搬送車	資材搬送車	トヨタ T-YH81改	H5.9.16	8	

消防水利の状況

(平成31年4月1日)

	防火水槽				プール	消火栓			
	平成30年度		40立米以上 以現有	40立米未 満現有		平成30年度		上水道 現 有	簡易水道 現 有
	新設	廃止				新設	廃止		
中 央			103	10	4			454	0
大 正	1	1	45	4	1			159	0
雀 部			49	4	1			185	0
庵 我		1	29	13	1	1		83	0
修 斉		1	76	20	1			292	0
西 中			40	6	1	1	3	144	0
下 川	1		34	4	1			91	0
上 豊			24	16	1			160	0
上 六			19	11	1			78	0
中 六			21	5	1			59	0
下 六			61	7	1			142	0
上 川			23	2	1			144	0
金 谷			20	5	1			91	0
三 岳			6	4	1			0	119
金 山			12	3	0			0	98
雲 原			1	0	1			0	70
佐 賀			7	5	2			88	0
長 田 野			128	29	1			106	0
菟 原			49	13	1			0	152
細 見	1		66	18	1			0	201
川 合			49	3	1			0	101
上夜久野			52	2	0			0	263
中夜久野			18	2	0			0	129
下夜久野			29	4	1			0	217
河 守			30	0	1			0	123
河 守 上		1	26	7	1	7		0	117
河 西		1	14	4	1			0	79
河 東			32	3	1			0	111
有 路 上			41	4	1			0	111
有 路 下			32	3	1			0	96
合 計	3	5	1,136	211	31	9	3	2,276	1,987

救助活動のための機械器具等の保有状況

(平成31年4月1日)

	品名	消防署	東分署	北分署
一般救助用	かぎ付きはしご	6	5	4
	三連はしご	4	2	1
	ワイヤーはしご	1		
	空気式救助マット	1		
	救命索発射装置	1		
	救助縛帯	15	1	6
	平担架	2	2	
重量物排除用	油圧ジャッキ	3	2	1
	可搬ウインチ	3	1	1
	マンホール救助器具	2		
	マット型空気ジャッキ	2		
	大型油圧スプレッダー	2		
切断用	大型油圧切断機	2		
	エンジンカッター	6	2	1
	チェーンソー	3	2	2
	ガス溶断機	1		
	空気鋸	2		
	空気切断機	1		
	鉄線カッター	7	3	2
破壊器具	万能斧	10	5	3
	ハンマー	1		
	携帯用コンクリート破壊器具	1		
	削岩機	3		
測定用器具	可燃性ガス測定器	4	1	1
	有毒ガス測定器	2		
	放射線測定器	13	6	6

(平成31年4月1日)

	品名	消防署	東分署	北分署
呼吸保護用	空気呼吸器	51	10	7
	防塵マスク	44	17	25
	送排風機	2		
隊員保護用	耐電手袋	15	6	4
	耐電衣	4		
	耐電ズボン	4		
	耐電長靴	8	6	4
	防塵メガネ	44	17	25
	携帯警報器	11	7	7
	陽圧式化学防護服	10		
水難救助用	潜水器具	6		
	救命胴衣	49	18	16
	救命ボート	6	3	3
	船外機	4	2	2
	救命浮環	10	2	2
	流水救助器具	12	4	4

【統計】

火災概要

		平成30年	平成29年	前年比（△減）	
火災件数 （爆発）	建 物	15 (0)	18 (1)	△ 3 (0)	
	林 野	0 (0)	3 (0)	△ 3 (0)	
	車 両	3 (0)	7 (0)	△ 4 (0)	
	その他	20 (0)	14 (0)	6 (0)	
	計	38 (0)	42 (1)	△ 4 (0)	
焼損面積	建物（㎡）	床面積	1,013	763	250
		表面積	34	47	△ 13
	山林原野（a）	0	3	△ 3	
焼損棟数 （棟）	全 焼	3	5	△ 2	
	半 焼	1	3	△ 2	
	部分焼	8	8	0	
	ぼ や	7	5	2	
り災世帯 （世帯）	全 損	2	2	0	
	半 損	0	1	△ 1	
	小 損	5	9	△ 4	
り 災 人 員（人）		22	28	△ 6	
死傷者 （人）	死 者	0	4	△ 4	
	傷 者	6	4	2	
損害見積額 （千円）	建 物	41,275	24,973	16,302	
	収容物	6,626	6,507	119	
	林 野	0	0	0	
	車 両	258	691	△ 433	
	その他	17	213	△ 196	
	爆 発	0	6,378	△ 6,378	
	計	48,176	38,762	9,414	
火災発生間隔（日）		9.6	8.7	0.9	
1 件平均損害額（千円）		1,268	923	345	
1 日平均損害額（千円）		132	106	26	
1 件平均建物焼損面積（㎡）		68	42	26	

累年火災比較（10年間）

		21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	
火災件数（件）	建 物	16	23	19	28	19	18	15	20	18	15	
	林 野	0	1	0	2	3	2	0	1	3	0	
	車 両	9	3	13	5	2	6	1	3	7	3	
	その他	12	17	16	9	15	13	16	14	14	20	
	計	37	44	48	44	39	39	32	38	42	38	
焼損面積	建物 (㎡)	床面積	544	1,301	1,032	1,189	943	763	350	683	763	1,013
		表面積	149	71	7	15	47	17	53	4	47	34
	山林原野（a）	46	65	47	15	47	22	1	38	3	0	
焼損棟数（棟）	全 焼	6	10	9	7	9	5	9	5	5	3	
	半 焼	0	2	3	4	2	0	0	0	3	1	
	部分焼	8	5	5	9	8	4	5	4	8	8	
	ぼ や	6	13	13	14	10	16	8	14	5	7	
り災世帯（世帯）	全 損	2	4	4	5	4	5	3	2	2	2	
	半 損	0	2	1	1	0	1	0	4	1	0	
	小 損	9	10	14	13	12	5	5	13	9	5	
り災人員（人員）		34	45	49	42	37	20	10	32	28	22	
死傷者（人）	死 者	1	1	3	3	4	3	2	2	4	0	
	傷 者	2	7	5	6	64	7	1	5	4	6	
損害見積額（千円）	建 物（収容物含む）	16,093	42,813	51,902	49,612	36,630	41,184	24,052	26,521	31,480	47,901	
	林 野	0	0	0	0	1,244	0	0	0	0	0	
	車 両	1,786	3,624	1,432	297	147	691	755	444	691	258	
	その他	0	3,471	3,144	302	424	753	55	0	213	17	
	爆 発	0	0	0	0	0	0	22,528	1,600	6,378	0	
	計	17,879	49,908	56,478	50,211	38,445	42,628	47,390	28,565	38,762	48,176	

署・分署別火災発生状況

(平成30年中)

		消防署	東分署	北分署	合 計
火災件数 (件)	建 物	7	1	7	15
	林 野	0	0	0	0
	車 両	1	2	0	3
	その他	7	4	9	20
	計	15	7	16	38
焼損面積	建 物 (㎡)	203	0	810	1,013
	山林原野 (a)	0	0	0	0
焼損棟数 (棟)	全 焼	2	0	1	3
	半 焼	0	0	1	1
	部 分 焼	1	1	6	8
	ぼ や	6	0	1	7
	計	9	1	9	19
り災世帯 (世帯)	全 損	0	0	2	2
	半 損	0	0	0	0
	小 損	2	1	3	6
	計	2	1	6	9
り災人員 (人)		3	1	18	22
死 者 (人)		0	0	0	0
傷 者 (人)		1	1	4	6
損害見積額 (千円)	建 物	3,787	144	37,344	41,275
	収 容 物	1,143	0	5,483	6,626
	林 野	0	0	0	0
	車 両	130	128	0	258
	そ の 他	4	0	13	17
	爆 発	0	0	0	0
	計	5,064	272	42,840	48,176

地区別火災発生状況 1

(平成30年中)

	火災件数 (件)					焼損面積			焼損棟数 (棟)				
	建物	林野	車両	その他	計	建物 (㎡)		山林原野 (a)	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計
						床面積	表面積						
中央	4	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	4	4
大正	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	2
雀部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
庵我	1	0	0	0	1	203	5	0	2	0	1	0	3
修斉	1	0	0	7	8	0	0	0	0	0	0	1	1
西中	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
下川	1	0	0	1	2	313	0	0	1	0	2	0	3
上豊	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
上六	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中六	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下六	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
上川	2	0	0	0	2	477	12	0	0	1	1	0	2
金谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三岳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
雲原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菟原	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
細見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川合	1	0	0	0	1	0	16	0	0	0	1	0	1
上夜久野	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
中夜久野	2	0	0	1	3	14	1	0	0	0	2	0	2
下夜久野	1	0	0	1	2	6	0	0	0	0	1	0	1
河守	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
河守上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有路上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有路下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	15	0	3	20	38	1,013	34	0	3	1	8	7	19

地区別火災発生状況 2

(平成30年中)

	り災世帯 (世帯)				り災人員 (人)	死傷者 (人)		損害見積額 (千円)						
	全損	半損	小損	計		死者	傷者	建物	収容物	林野	車両	その他	爆発	計
中央	0	0	1	1	2	0	1	0	767	0	130	0	0	897
大正	0	0	1	1	1	0	0	24	31	0	0	0	0	55
雀部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
庵我	0	0	0	0	0	0	0	3,763	345	0	0	0	0	4,108
修斉	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	8
西中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下川	1	0	0	1	6	0	0	5,429	3,457	0	0	13	0	8,899
上豊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上六	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中六	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下六	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上川	1	0	0	1	7	0	2	30,618	1,987	0	0	0	0	32,605
金谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三岳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雲原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菟原	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	128	0	0	128
細見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川合	0	0	1	1	1	0	0	144	0	0	0	0	0	144
上夜久野	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
中夜久野	0	0	1	1	2	0	0	183	10	0	0	0	0	193
下夜久野	0	0	1	1	3	0	1	1,114	25	0	0	0	0	1,139
河守	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河守上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有路上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有路下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	0	5	7	22	0	6	41,275	6,626	0	258	17	0	48,176

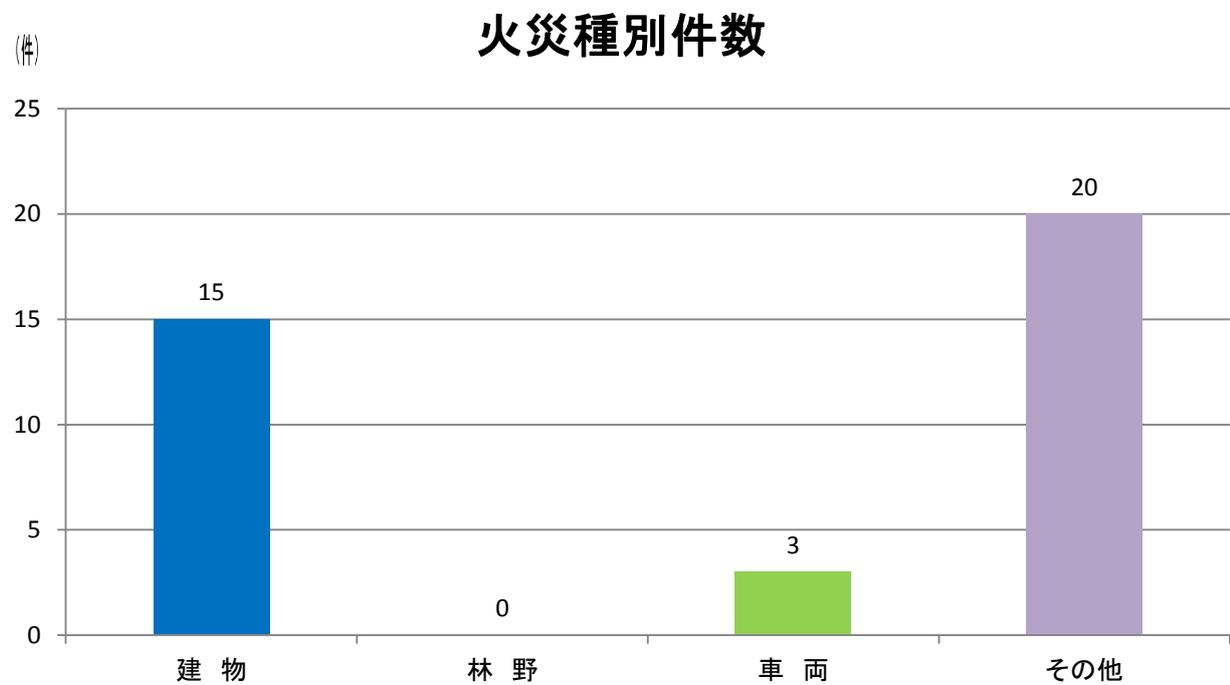
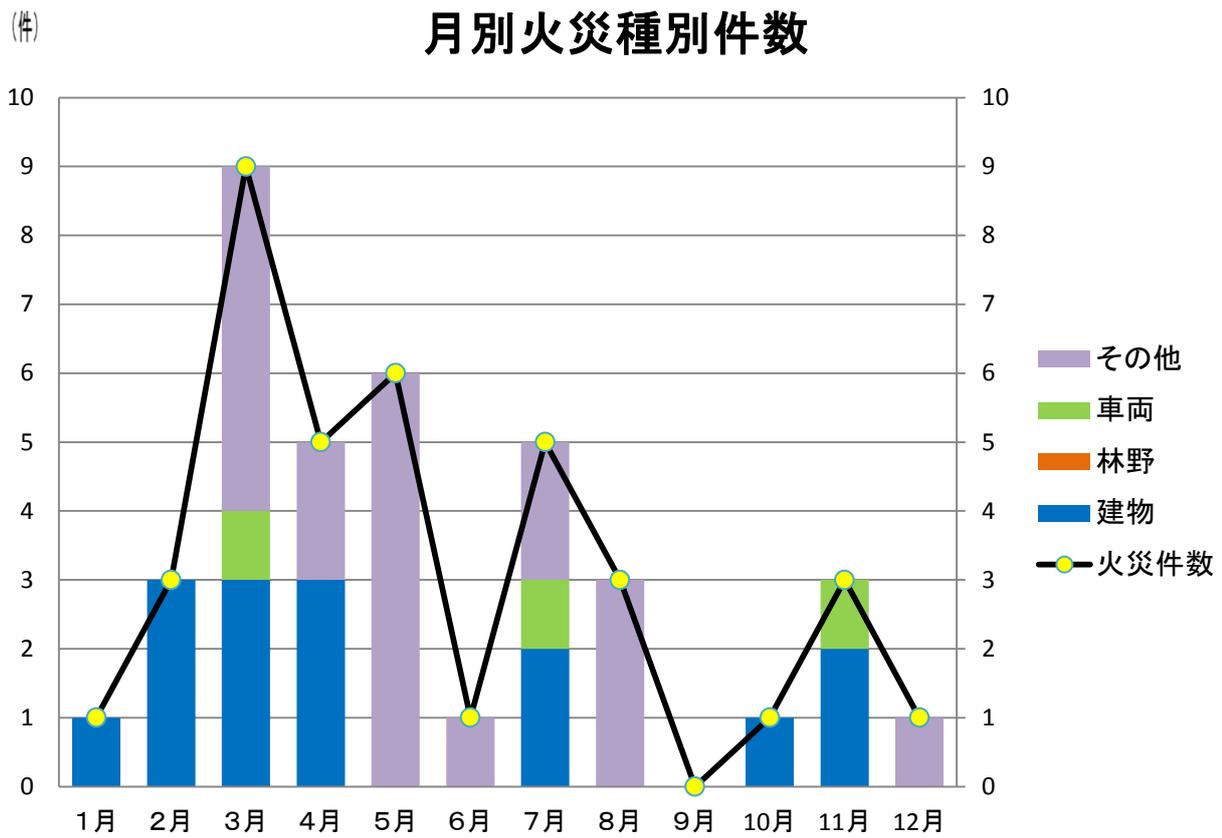
月別火災発生状況

(平成30年中)

	火災発生件数 (件)					焼損面積			焼損棟数 (棟)				
	建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	建物 (㎡)		山林 原野 (a)	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計
						床 面 積	表 面 積						
1月	1	0	0	0	1	6	0	0	0	0	1	0	1
2月	3	0	0	0	3	490	13	0	0	1	2	0	3
3月	3	0	1	5	9	203	21	0	2	0	2	1	5
4月	3	0	0	2	5	1	0	0	0	0	1	2	3
5月	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	2	0	1	2	5	0	0	0	0	0	0	2	2
8月	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	1	0	0	0	1	313	0	0	1	0	2	0	3
11月	2	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	2	2
12月	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	15	0	3	20	38	1,013	34	0	3	1	8	7	19

(平成30年中)

	り災世帯 (世帯)				り災人員 (人)	死傷者 (人)		損害見積額 (千円)						
	全 損	半 損	小 損	計		死 者	傷 者	建 物	収 容 物	林 野	車 両	そ の 他	爆 発	計
1月	0	0	1	1	3	0	1	1,114	25	0	0	0	0	1,139
2月	1	0	1	2	9	0	0	30,781	1,922	0	0	0	0	32,703
3月	0	0	1	1	1	0	1	3,907	349	0	130	4	0	4,390
4月	0	0	0	0	0	0	2	20	818	0	0	0	0	838
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	2	2	3	0	2	0	26	0	0	0	0	26
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	1	0	0	1	6	0	0	5,429	3,457	0	0	13	0	8,899
11月	0	0	0	0	0	0	0	24	29	0	128	0	0	181
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	0	5	7	22	0	6	41,275	6,626	0	258	17	0	48,176



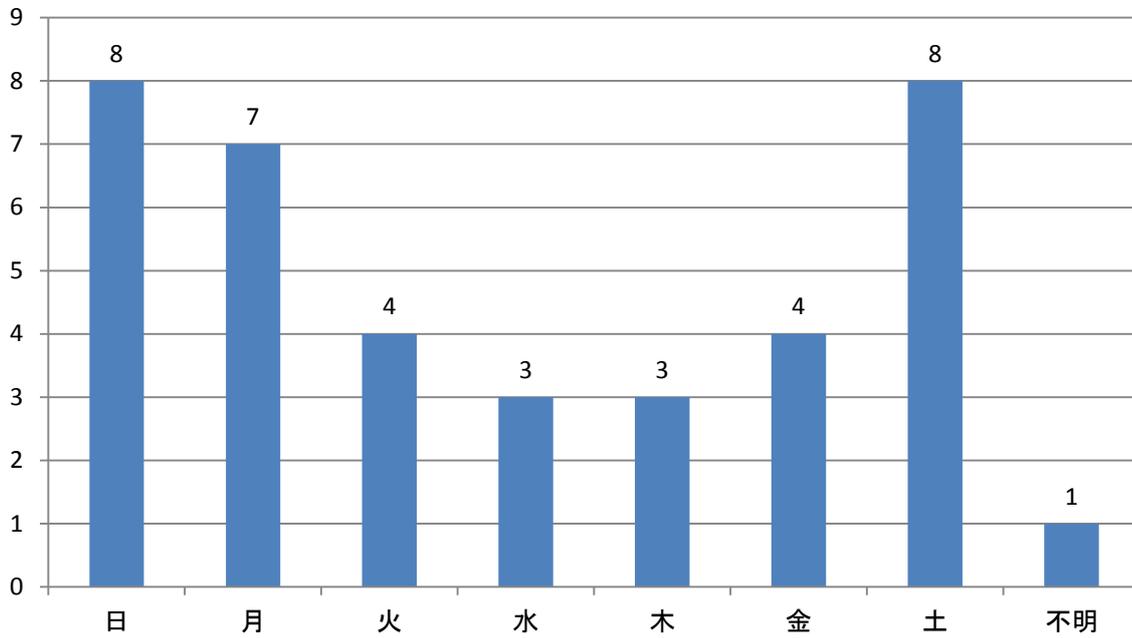
曜日・時間別火災発生状況

(平成30年中)

		件数 (件)	火災種別				焼損面積			損害見積額 (千円)
			建物	林野	車両	その他	建物		山林 原野 (a)	
							床面積 (㎡)	表面積 (㎡)		
日	0～6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6～12	3	1	0	0	2	0	16	0	
	12～18	5	2	0	0	3	490	12	0	
	18～24	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	8	3	0	0	5	490	28	0	
月	0～6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6～12	4	1	0	0	3	6	0	0	
	12～18	1	0	0	1	0	0	0	0	
	18～24	2	2	0	0	0	1	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	7	3	0	1	3	7	0	0	
火	0～6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6～12	2	0	0	0	2	0	0	0	
	12～18	1	1	0	0	0	0	1	0	
	18～24	1	1	0	0	0	313	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	4	2	0	0	2	313	1	0	
水	0～6	1	1	0	0	0	0	0	0	
	6～12	0	0	0	0	0	0	0	0	
	12～18	1	1	0	0	0	0	0	0	
	18～24	1	0	0	1	0	0	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	3	2	0	1	0	0	0	0	
木	0～6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6～12	0	0	0	0	0	0	0	0	
	12～18	1	1	0	0	0	203	5	0	
	18～24	2	1	0	0	1	0	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	3	2	0	0	1	203	5	0	
金	0～6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6～12	0	0	0	0	0	0	0	0	
	12～18	3	1	0	0	2	0	0	0	
	18～24	1	1	0	0	0	0	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	4	2	0	0	2	0	0	0	
土	0～6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6～12	4	0	0	0	4	0	0	0	
	12～18	4	0	0	1	3	0	0	0	
	18～24	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	8	0	0	1	7	0	0	0	
不明		1	1	0	0	0	0	0	0	

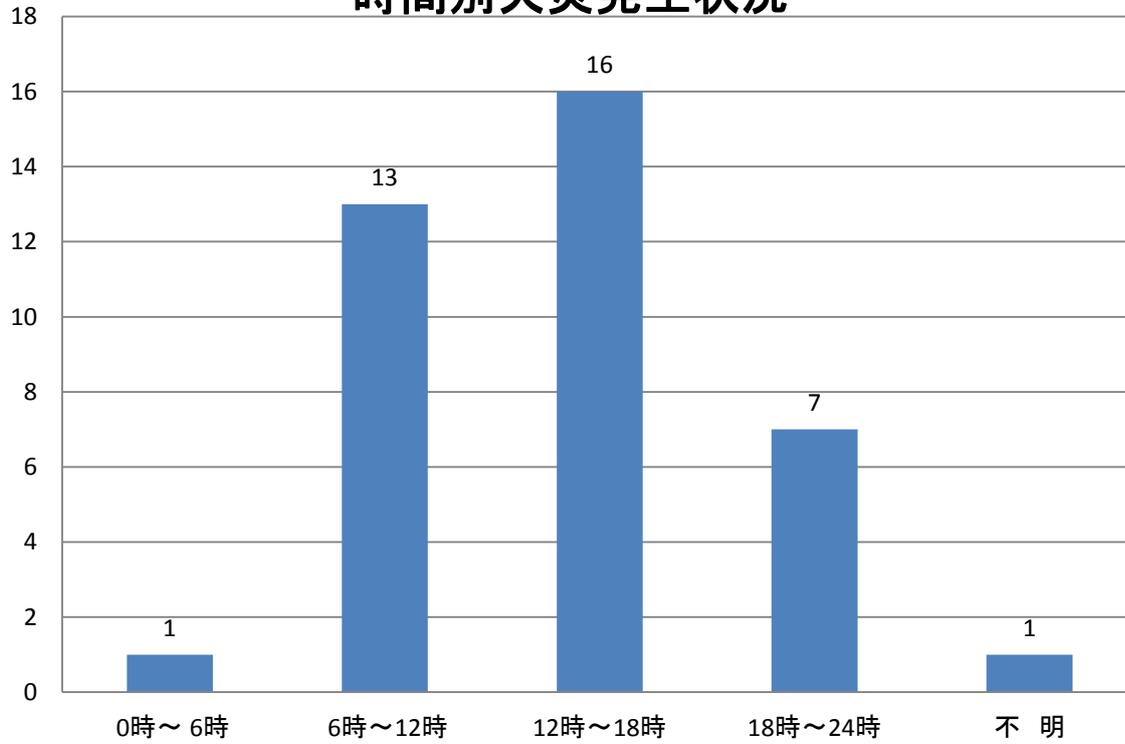
(件)

曜日別火災発生状況



(件)

時間別火災発生状況



気象別火災発生状況

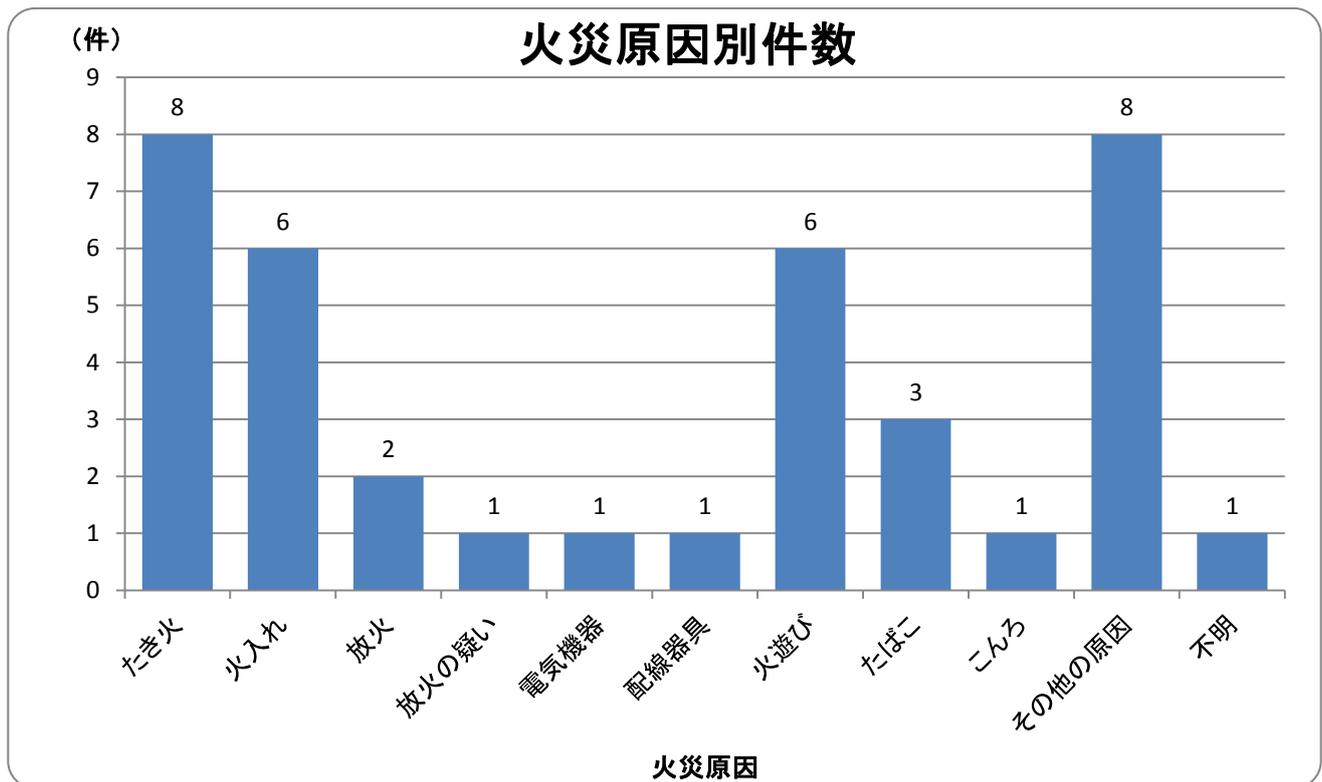
(平成30年中)

		火災件数 (件)					損害見積額 (千円)						
		合計	建物	林野	車両	その他	合計	建物	収容物	林野	車両	その他	爆発
風速	2m未満	12	5	0	1	6	10,068	5,629	4,294	0	128	17	0
	2m～3m	8	4	0	0	4	33,658	31,712	1,946	0	0	0	0
	3m～5m	11	6	0	1	4	4,320	3,934	386	0	0	0	0
	5m～7m	6	0	0	1	5	130	0	0	0	130	0	0
	7m～10m	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	10m以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	38	15	0	3	20	48,176	41,275	6,626	0	258	17	0
湿度	40%未満	17	3	0	1	13	32,675	30,601	1,944	0	130	0	0
	40%～50%	8	3	0	1	4	4,301	3,943	354	0	0	4	0
	50%～60%	4	2	0	0	2	197	168	29	0	0	0	0
	60%～70%	3	3	0	0	0	99	20	79	0	0	0	0
	70%～80%	3	3	0	0	0	1,877	1,114	763	0	0	0	0
	80%～90%	2	1	0	1	0	9,027	5,429	3,457	0	128	13	0
	90%以上	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
計	38	15	0	3	20	48,176	41,275	6,626	0	258	17	0	
天候	晴	25	8	0	2	15	45,823	39,793	5,759	0	258	13	0
	曇	13	7	0	1	5	2,353	1,482	867	0	0	4	0
	雨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	霧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	38	15	0	3	20	48,176	41,275	6,626	0	258	17	0
警報・注意報等	火災気象通報	9	5	0	0	4	13,754	9,192	4,549	0	0	13	0
	乾燥・強風注意報	5	1	0	1	3	225	20	75	0	130	0	0
	なし	15	6	0	1	8	524	351	41	0	128	4	0
	その他	9	3	0	1	5	33,673	31,712	1,961	0	0	0	0
	計	38	15	0	3	20	48,176	41,275	6,626	0	258	17	0

火災原因別調べ

(平成30年中)

	件数 (件)	内 訳												損 害 見積額 (千円)
		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
たき火	8	0	0	4	0	0	1	1	2	0	0	0	0	4,252
火入れ	6	0	0	3	1	0	0	1	1	0	0	0	0	99
放火	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	740
放火の疑い	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
電気機器	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	24
配線器具	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
火遊び	6	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	7
たばこ	3	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	2
こんろ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	53
その他の原因	8	1	2	1	1	0	0	1	0	0	0	2	0	34,089
不明	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	8,899
合 計	38	1	3	9	5	6	1	5	3	0	1	3	1	48,176



救急概要

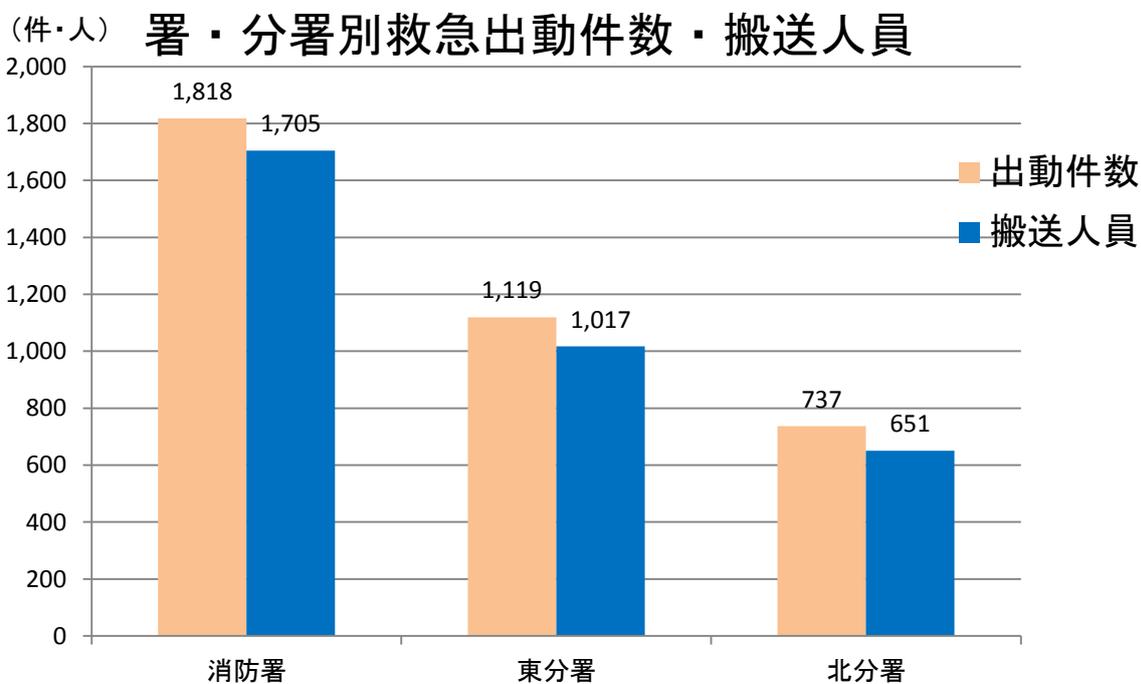
(平成30年中)

		平成 30 年	平成 29 年	前年比 (△減)	
出 動 件 数 (件)		3,674	3,699	△ 25	
事 故 種 別	火 災	32	55	△ 23	
	自 然 災 害	3	1	2	
	水 難	2	6	△ 4	
	交 通	271	263	8	
	労 働 災 害	47	28	19	
	運 動 競 技	43	23	20	
	一 般 負 傷	523	536	△ 13	
	加 害	12	15	△ 3	
	自 損 行 為	33	37	△ 4	
	急 病	2,431	2,432	△ 1	
	そ の 他	転 院 搬 送	233	273	△ 40
		医 師 搬 送	3	2	1
		資 材 搬 送	0	0	0
そ の 他		41	28	13	
搬 送 人 員		3,373	3,382	△ 9	
不 搬 送		341	355	△ 14	
1 ヲ月平均出動件数 (件)		306	308	△ 2	
1 日平均出動件数 (件)		10.07	10.13	△ 0.06	
平均現着所要時間 (分)		8.97	9.00	△ 0.03	

署・分署別救急活動状況

(平成30年中)

		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
消防署	出動件数(件)	4	0	0	125	13	25	249	9	15	1,171	207	1,818
	搬送人員(人)	0	0	0	128	13	20	236	7	10	1,101	190	1,705
東分署	出動件数(件)	5	1	1	97	22	11	171	2	13	765	31	1,119
	搬送人員(人)	1	1	0	99	20	11	161	2	9	692	21	1,017
北分署	出動件数(件)	23	2	1	49	12	7	103	1	5	495	39	737
	搬送人員(人)	4	0	0	51	13	7	96	2	2	448	28	651
合計	出動件数(件)	32	3	2	271	47	43	523	12	33	2,431	277	3,674
	搬送人員(人)	5	1	0	278	46	38	493	11	21	2,241	239	3,373



月別救急活動状況

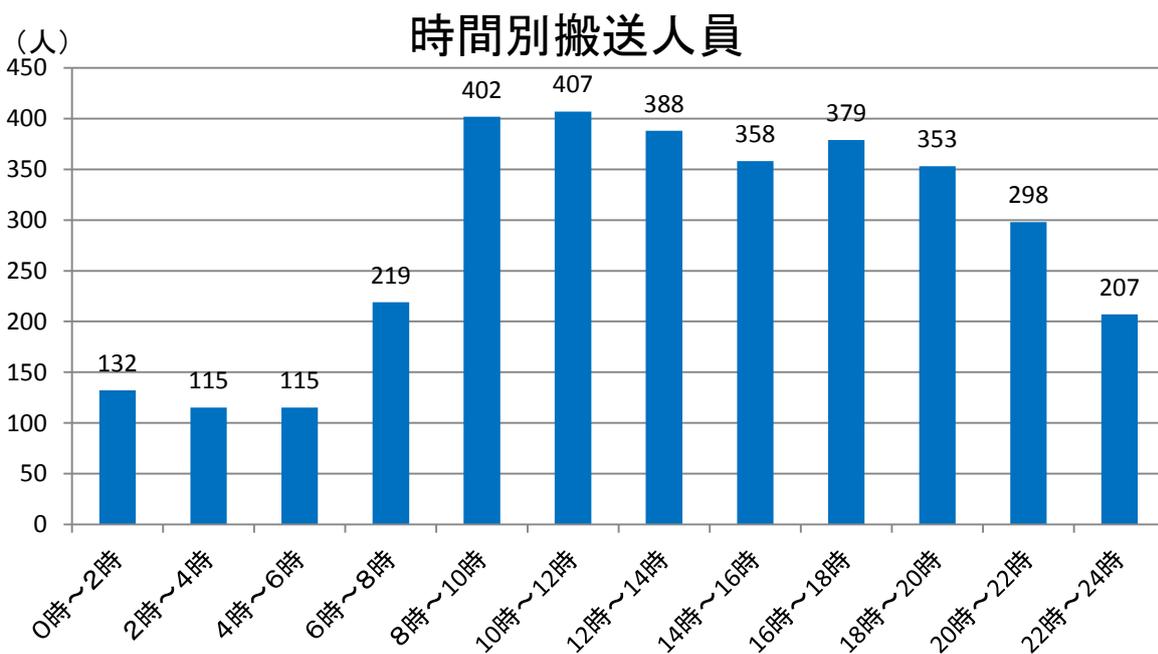
(平成30年中)

		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
1月	出動件数(件)	2	0	0	16	5	2	49	3	6	250	33	366
	搬送人員(人)	0	0	0	21	5	2	46	3	3	224	32	336
2月	出動件数(件)	4	0	0	15	2	2	42	1	2	219	46	333
	搬送人員(人)	0	0	0	17	2	2	38	1	2	203	44	309
3月	出動件数(件)	9	0	0	25	3	1	35	1	0	227	28	329
	搬送人員(人)	1	0	0	21	2	1	33	1	0	208	25	292
4月	出動件数(件)	4	0	0	26	1	0	37	1	3	172	15	259
	搬送人員(人)	2	0	0	24	1	0	34	1	1	158	10	231
5月	出動件数(件)	3	0	1	26	4	2	34	0	3	184	12	269
	搬送人員(人)	0	0	0	26	5	2	34	0	3	168	11	249
6月	出動件数(件)	1	0	0	16	2	5	41	0	3	175	17	260
	搬送人員(人)	0	0	0	21	2	5	40	0	3	162	13	246
7月	出動件数(件)	3	2	0	27	13	10	48	1	4	256	27	391
	搬送人員(人)	2	1	0	29	12	10	43	1	2	243	24	367
8月	出動件数(件)	3	0	0	17	7	4	47	2	7	213	22	322
	搬送人員(人)	0	0	0	19	7	4	46	0	4	205	18	303
9月	出動件数(件)	0	0	0	26	3	2	51	0	3	161	17	263
	搬送人員(人)	0	0	0	26	3	2	45	0	3	149	16	244
10月	出動件数(件)	1	1	1	20	2	2	56	2	0	172	23	280
	搬送人員(人)	0	0	0	20	2	2	54	2	0	156	16	252
11月	出動件数(件)	1	0	0	37	3	10	35	0	0	178	20	284
	搬送人員(人)	0	0	0	36	3	5	35	0	0	160	17	256
12月	出動件数(件)	1	0	0	20	2	3	48	1	2	224	17	318
	搬送人員(人)	0	0	0	18	2	3	45	2	0	205	13	288
合計	出動件数(件)	32	3	2	271	47	43	523	12	33	2,431	277	3,674
	搬送人員(人)	5	1	0	278	46	38	493	11	21	2,241	239	3,373

時間別事故種別搬送人員

(平成30年中)

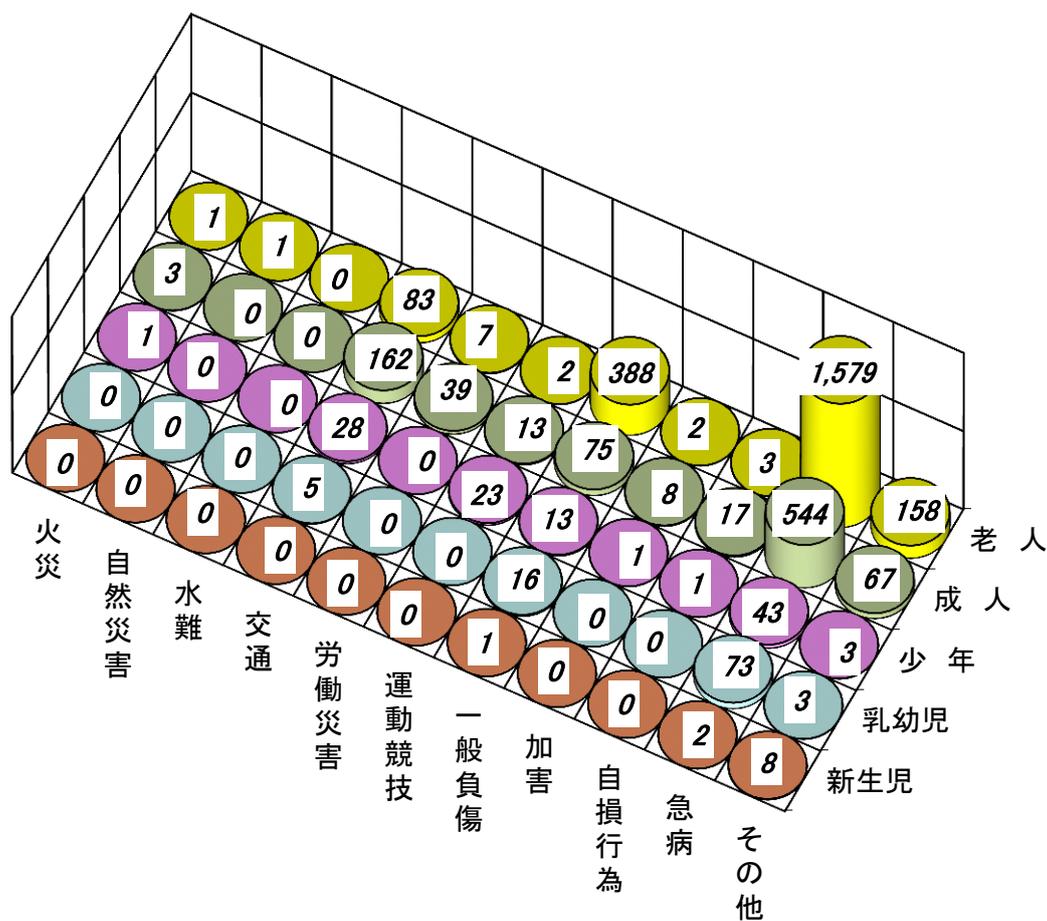
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
0～2	0	1	0	9	0	0	8	0	0	107	7	132
2～4	0	0	0	1	0	0	12	4	1	95	2	115
4～6	0	0	0	2	1	0	11	0	1	95	5	115
6～8	0	0	0	13	6	0	31	0	2	161	6	219
8～10	0	0	0	28	9	6	73	0	3	249	34	402
10～12	1	0	0	38	10	9	58	1	1	242	47	407
12～14	0	0	0	31	5	8	60	0	2	247	35	388
14～16	0	0	0	36	5	11	65	0	2	220	19	358
16～18	2	0	0	54	6	0	69	3	4	216	25	379
18～20	0	0	0	43	4	0	46	0	0	232	28	353
20～22	2	0	0	15	0	3	43	1	3	215	16	298
22～24	0	0	0	8	0	1	17	2	2	162	15	207
合計	5	1	0	278	46	38	493	11	21	2,241	239	3,373



年齢区分別事故種別搬送人員

(平成30年中)

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	8	11
乳幼児	0	0	0	5	0	0	16	0	0	73	3	97
少年	1	0	0	28	0	23	13	1	1	43	3	113
成人	3	0	0	162	39	13	75	8	17	544	67	928
老人	1	1	0	83	7	2	388	2	3	1,579	158	2,224
合計	5	1	0	278	46	38	493	11	21	2,241	239	3,373



傷病程度別性別事故種別搬送人員

(平成30年中)

傷病程度		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	21
	女性	0	0	0	2	0	0	1	0	1	16	0	20
	計	0	0	0	2	0	0	1	0	1	37	0	41
重症	男性	0	0	0	7	1	0	16	1	2	97	28	152
	女性	0	1	0	9	0	0	28	0	1	82	31	152
	計	0	1	0	16	1	0	44	1	3	179	59	304
中等症	男性	1	0	0	31	22	6	56	3	4	540	87	750
	女性	0	0	0	21	1	7	113	1	5	426	72	646
	計	1	0	0	52	23	13	169	4	9	966	159	1,396
軽症	男性	3	0	0	118	17	17	160	5	3	528	6	857
	女性	1	0	0	90	5	8	119	1	5	531	14	774
	計	4	0	0	208	22	25	279	6	8	1,059	20	1,631
その他	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	男性	4	0	0	156	40	23	232	9	9	1,186	122	1,781
	女性	1	1	0	122	6	15	261	2	12	1,055	117	1,592
	合計	5	1	0	278	46	38	493	11	21	2,241	239	3,373

傷病程度別年齢区分搬送人員

(平成30年中)

	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	合計
死亡	0	0	0	4	37	41
重症	2	3	0	58	241	304
中等症	7	20	34	298	1,037	1,396
軽症	2	74	79	568	908	1,631
その他	0	0	0	0	1	1
合計	11	97	113	928	2,224	3,373

救急講習実施状況

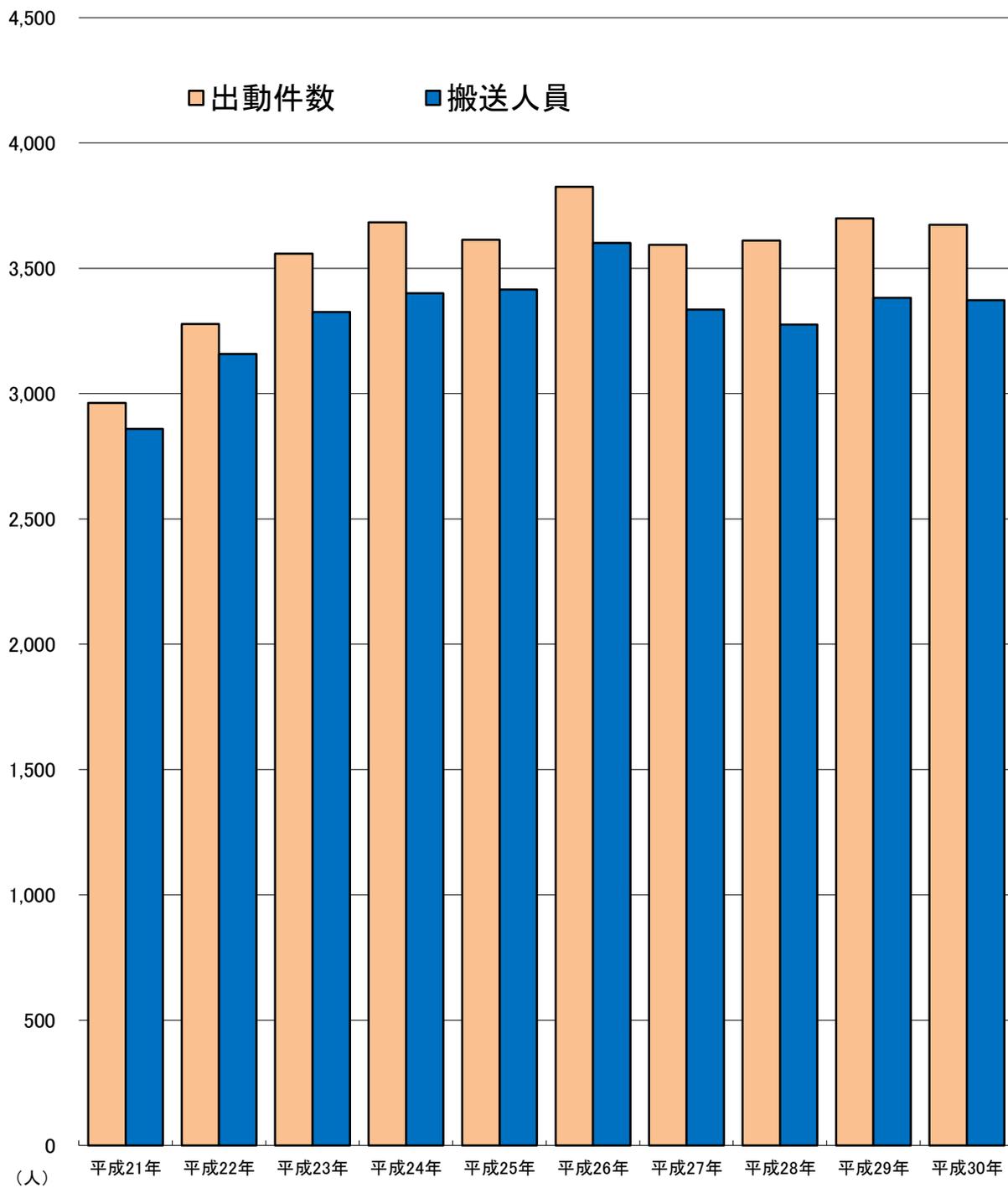
(年度)

	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
市民救命士(人)	1,009	646	589	652	825	619	923
(開催回数)	44	37	32	45	46	51	62
応急手当普及員(人)	54	0	31	0	0	0	52

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
市民救命士(人)	1,135	1,029	1,065	1,311	1,241	1,387	1,249
(開催回数)	81	78	69	73	84	82	116
応急手当普及員(人)	0	27	0	0	55	44	28

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	合計
市民救命士(人)	2,001	2,100	2,825	3,243	2,636	2,179	28,664
(開催回数)	96	107	140	151	136	111	1,641
応急手当普及員(人)	98	62	45	46	23	43	608

過去10年間における救急出動の推移



	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
出動件数	2,963	3,278	3,559	3,683	3,614	3,825	3,594	3,611	3,699	3,674
搬送人員	2,860	3,158	3,326	3,401	3,416	3,601	3,336	3,276	3,382	3,373

救助概要

1 出動状況及び活動状況

(平成30年中)

	出 動 状 況										活 動 状 況			
	火 災	交 通 事 故	水 難	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 事 故	合 計	出 動 隊 数	活 動 件 数	救 助 人 員
1 月	1										1	4	1	0
2 月	3	1									4	24	4	2
3 月	2	5							4		11	40	5	5
4 月	2	1				1					4	18	3	1
5 月	1	1	1						1		4	26	3	2
6 月						1					1	9	1	1
7 月	1	1		8		1			1		12	40	12	7
8 月		1				1					2	7	2	2
9 月		3									3	15	1	3
10 月	1	1	2						1		5	27	4	2
11 月	2	2									4	16	4	3
12 月		3							1		4	15	2	2
合 計	13	19	3	8		4	0	0	8		55	241	42	30

2 救助活動状況（前年との比較）

年 及 比	別 び 較 出 動 件 数 及 救 助 人 員	事 故 種 別										合 計
		火 災	交 通 事 故	水 難	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 事 故	
平成30年	出動件数(件)	13	19	3	8	4	0	0	0	8	55	
	救助人員(人)	0	16	2	4	4	0	0	0	4	30	
平成29年	出動件数(件)	13	28	4	6	2				4	57	
	救助人員(人)	3	9	2	8	1					23	
前 年 比	出動件数(件)	0	△9	△1	2	2	0	0	0	4	△2	
	救助人員(人)	△3	7	0	△4	3	0	0	0	4	7	

(△印は前年より減少)

【予 防】

防火対象物の状況

(平成30年度)

項別防火対象物		防火管理者選任義務対象物(法第8条)				消防用設備等設置対象物(法第17条)				
		消防署	東分署	北分署	計	消防署	東分署	北分署	計	
1	イ	劇場・映画館	2	1	1	4	7	1	1	9
	ロ	公会堂・集会場	12	8	3	23	12	9	4	25
2	イ	キャバレー・カフェー	1			1	2			2
	ロ	遊技場・ダンスホール	3	2	1	6	3	2	1	6
	ハ	性風俗店舗								
	ニ	カラオケボックス等	2	1		3	3	1		4
3	イ	待合・料理店	5			5	5			5
	ロ	飲食店	75	13	12	100	100	16	24	140
4		百貨店・マーケット	76	24	30	130	103	33	44	180
5	イ	旅館・ホテル	13	3	10	26	21	7	26	54
	ロ	寄宿舎・共同住宅	32	22		54	670	363	72	1105
6	イ	病院・診療所	7		2	9	35	9	12	56
	ロ	福祉施設等	12	13	4	29	15	39	5	59
	ハ	ロ以外の福祉施設等	23	14	9	46	53	36	20	109
	ニ	幼稚園・特別支援学校	3	2		5	3	6		9
7		各種学校	14	15	10	39	67	68	23	158
8		図書館・博物館	3	1	2	6	5	1	3	9
9	イ	熱気蒸気等の公衆浴場								
	ロ	イ以外の公衆浴場		1	1	2	1	1	1	3
10		停車場								
11		神社・寺院	18	12	18	48	30	18	32	80
12	イ	工場・作業場	7	36	2	45	137	286	112	535
	ロ	映画スタジオ								
13	イ	自動車車庫					70	14	12	96
	ロ	飛行機格納庫								
14		倉庫	1	4	1	6	173	163	91	427
15		事業所	67	36	32	135	255	219	172	646
16	イ	複合対象物	106	27	17	150	216	47	34	297
	ロ	イ以外の複合対象物	15	2	4	21	115	32	23	170
16の2		地下街								
16の3		準地下街								
17		重要文化財					13	8	5	26
18		延長50m以上のアーケード					5			5
合 計			497	237	159	893	2,119	1,379	717	4,215

建築同意事務 署・分署別件数

(平成30年度)

		新築	増築	改築	その他	計画変更	許可申請	合計
消防署	指導あり	18	6		2	2		28
	指導なし	29	2			2	1	34
	小計	47	8		2	4	1	62
東分署	指導あり	8	12		1		1	22
	指導なし	6	4			2		12
	小計	14	16		1	2	1	34
北分署	指導あり	4	2					6
	指導なし	4				1		5
	小計	8	2			1		11
合計	指導あり	30	20		3	2	1	56
	指導なし	39	6			5	1	51
	小計	69	26		3	7	2	107

建築同意事務業態別棟別件数

(平成30年度)

項	防火対象物	新築	増築	改築	その他	計画変更	許可申請	合計
1	イ 劇場等							
	ロ 集会所等		1					1
2	イ キャバレー等							
	ロ 遊技場等							
	ハ 性風俗店舗等							
	ニ カラオケボックス等							
3	イ 料理店等							
	ロ 飲食店	1						1
4	百貨店等	8	1					9
5	イ 旅館等	1						1
	ロ 共同住宅等	8			1	1		10
6	イ 病院等							
	ロ 養護老人ホーム等	1						1
	ハ 軽費老人ホーム等	1	2		1			4
	ニ 幼稚園等							
7	学校等		4					4
8	図書館等							
9	イ 蒸気浴場等							
	ロ 一般浴場							
10	車両停車場							
11	神社等	1					1	2
12	イ 工場等	2	7					9
	ロ スタジオ等							
13	イ 車庫等	2						2
	ロ 特殊格納庫							
14	倉庫	3	4			1		8
15	前各項以外	7	5			1		13
16	イ 特定複合	1	1		1			3
	ロ イ以外							
17	文化財							
18	アーケード							
	専用住宅等	7	1			2		10
合計		43	26		3	5	1	78

消防用設備等検査状況

(平成30年度)

	消 防 用 設 備 等	着工届出書 (累計)	設置届出書 (累計)	完成検査 (累計)
消 火 設 備	消 火 器		88	81
	屋 内 消 火 栓 設 備	12	16	14
	パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備	6	10	6
	屋 外 消 火 栓 設 備	5	5	5
	水 噴 霧 消 火 設 備			
	泡 消 火 設 備	7	10	8
	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備			
	粉 末 消 火 設 備	3	2	2
	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	2	2	2
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	1	3	3
動 力 消 防 ポ ン プ 設 備				
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	81	137	98
	漏 電 火 災 警 報 器	7	6	7
	非 常 警 報 設 備 ・ 非 常 ベ ル	17	22	19
	非 常 警 報 設 備 ・ 非 常 放 送	5	5	4
	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備			
	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	4	5	5
避 難 設 備	避 難 器 具	6	9	7
	誘 導 灯	61	121	82
	誘 導 標 識		29	31
消 防 用 水		2	2	1
消 必 火 要 活 な 動 設 上 備	連 結 送 水 管			
	連 結 散 水 設 備			
	排 煙 設 備			
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備			
	無 線 通 信 補 助 施 設			
フ ー ド 等 用 簡 易 自 動 消 火 装 置				
開 放 装 置 ・ シ ャ ッ タ ー				1
合 計		219	472	376

危険物施設の状況

(平成30年度)

	製造所	貯 蔵 所						取 扱 所			合 計			
		屋内	屋外 タンク	屋内 タンク	地下 タンク	簡易 タンク	移動 タンク	屋外	給油	販売		一般		
許可施設数	20	75	85	4	61	0	37	5	55	2	55	399		
数 量 別 数	5倍以下	1	31	8	2	20	0	36	1	3	0	24	126	
	5倍を越え 10倍以下	2	20	9	1	15	0	0	2	5	0	12	66	
	10倍を越え 50倍以下	5	15	25	1	21	0	0	2	17	2	16	104	
	50倍を越え 100倍以下	3	1	21	0	3	0	1	0	7	0	1	37	
	100倍を越え 150倍以下	3	7	4	0	1	0	0	0	7	0	0	22	
	150倍を越え 200倍以下	1	0	9	0	1	0	0	0	7	0	0	18	
	200倍を越え 1,000倍以下	3	1	9	0	0	0	0	0	9	0	2	24	
	1,000倍を 越えるもの	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
種 別	単 独	第1類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第2類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第3類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第4類	16	69	85	4	61	0	37	5	55	1	55	388
		第5類	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		第6類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	混在	4	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	10	

危険物申請の状況

(平成30年度)

	製造所	貯蔵所							取扱所			合計	
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般		
許可	設置	1	1	8	0	0	0	0	0	1	0	0	11
	変更	17	0	9	0	3	0	1	0	10	0	13	53
完成	設置	3	2	10	0	1	0	0	1	1	0	3	21
	変更	21	1	11	0	2	0	1	0	11	0	11	58
廃止		0	2	6	0	1	0	0	0	3	0	1	13

危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱の数

(平成30年度)

製造所	貯蔵所							取扱所			仮貯蔵	仮取扱	合計
	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般			
17	0	8	0	3	0	0	0	10	0	12	2	3	55

手数料徴収状況

(平成30年度)

仮貯蔵	仮取扱	仮使用	設置許可	変更許可	完成検査	水張検査	水圧検査	合計
11	16	270	210	1.643	1.168	0	0	3.318

(単位:千円)

火災予防条例等各種届出件数

(平成30年度)

	防火対象物使用開始届	炉設置届出書	厨房設備設置届出書	温風暖房機設置届出書	ボイラー設置届出書	給湯湯沸設備設置届出書	乾燥設備設置届出書	サウナ設備設置届出書	ヒートポンプ冷暖房機設置届出書	火花を生ずる設備設置届出書	放電加工機設置届	燃料電池発電機設置届出書	発電設備設置届出書	変電設備設置届出書	蓄電池設備設置届出書	ネオン管灯設備設置届出書	水素ガスを充てんする気球の設置届出書	少量危険物貯蔵取扱届出書	指定可燃物貯蔵取扱届出書	少量危険物等タンク検査申請書	喫煙等の使用申請書	火災とまきざわしい煙又は火災を発生のおそれのある行為の届出書	椅子席固定免除申請書又は客席避難通路特別適用申請書	露店の開設届出書	火災予防上必要な業務に関する計画書	防火管理者選任(解任)届出書	消防計画作成(変更)届出書	消防訓練通知書	防火対象物点検結果報告書	消防用設備等点検結果報告書	圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届出書	防火管理に関する講習課程修了証明申請書	少量危険物貯蔵取扱廃止届出書	指定可燃物貯蔵取扱廃止届出書	煙火打上げ仕掛け届出書	催物開催届出書	指定洞道等届出書	その他の届出	合計
消防署	40	1				4	3						1	6				8	3		11	23	390	127		102	111	232	35	442	18	11	14		8	3			1,593
東分署	22	5			16	3	5	1					3	16				10	4		1	13		92		46	72	159	14	238	17		10	2	4	1		12	766
北分署	11				6	2								3	3		3					9		74	1	48	54	80	13	167	4		3		12			3	496
合計	73	6	0	0	22	9	8	1	0	0	0	0	4	25	3	0	0	21	7	0	12	45	390	293	1	196	237	471	62	847	39	11	27	2	24	4	0	15	2,855

立入検査実施状況

(平成30年度)

種別	実施日	実施数
指定文化財立入検査	随時	30
防火対象物立入検査	随時	143

防火指導状況

(平成30年度)

対 象	事 業 内 容	実 施 日	実 施 状 況
高齢者	高齢者宅 防火訪問	8月 11月 2月 3月	511軒
	高齢者大学 防火研修会	9月6日	134人
自治会等	安心安全講座	随時	51回 3,022人
防火対象物	消防訓練指導	随時	116回 6,021人
	乙種防火管理講習(新規)	—	
	甲種防火管理講習(新規)	7/3.4 10/18.19	7月(59名) 10月(60名)
	甲種防火管理講習(再講習)	H30年度は綾部市で実施	
その他	消防署見学	随時	100回 2,845人
	起震車体験会	9/4~9/14	854人

(平成30年度)

養成講座	自主防災リーダー養成講座		7月豪雨災害により中止
------	--------------	--	-------------

広報活動状況

(平成30年度)

広 報 活 動 内 容	回 数
1 巡回広報	33
2 街頭広報	2
3 有線利用による広報	40
4 報道機関への情報提供	3
5 固定放送設備による広報	40
6 ホームページによる広報	52

幼年消防クラブ活動状況

◎目的

幼児に消防研修を行うことにより、防火に対する正しい知識を身につけ、各幼稚園、保育園及び各家庭からの火災の減少を図るとともに、将来人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地を育成することを目的とする。

	クラブ数	クラブ員
保 育 園	28	2,488
幼 稚 園	4	456
そ の 他	3	47

◎平成30年度実施事業

実 施 事 業	内 容
幼年消防クラブ総会及び指導者研修会	普通救命講習Ⅲ
巡回防火教室(消防訓練を含む)	防災ダック、防火の話
起震車体験会	地震体験、災害の話
福知山市消防出初式	防火・防災パレード
火災予防週間に伴う街頭広報	園児による街頭広報

福知山市防災センター来館者状況

(平成30年度)

合計	防災センター	防災広場のみ
8,167	7,657	510

【通信指令課】

覚知別集計

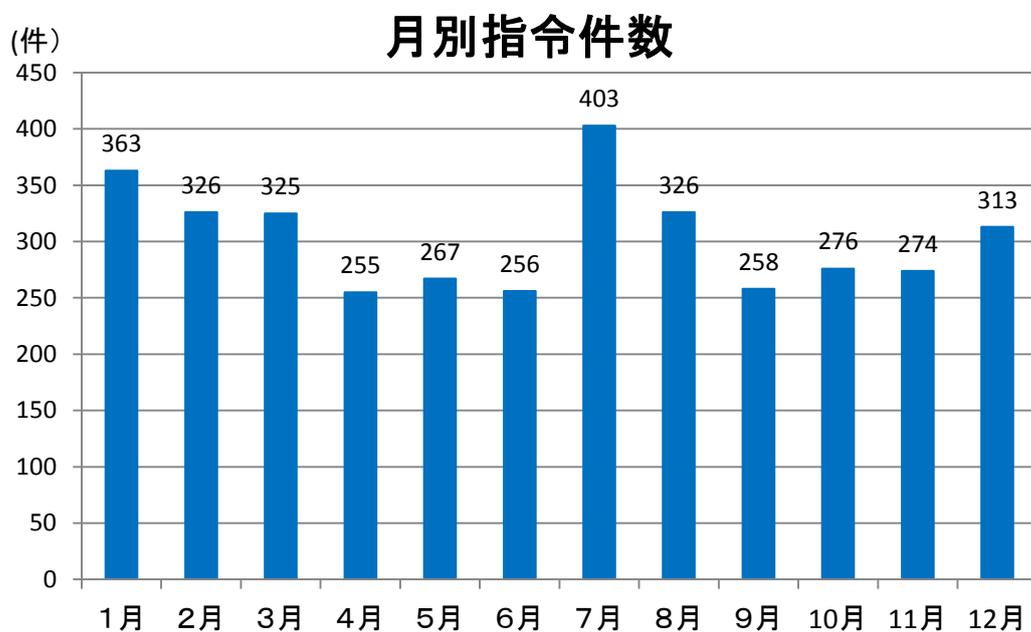
(平成30年中)

災害区分		当年件数	119一般	119携帯	119IP	加入電話	福祉電話FAX	駆け付け	自己覚知	事後聞知	その他
火災	建物	15		5	3	2				5	
	車両	3		1		1				1	
	林野	0									
	その他	20	1	10		3		3		3	
	小計	38	1	16	3	6	0	3	0	9	0
救急	火災	0									
	自然災害	1									1
	水難	0									
	交通	222	7	169	19	23			1		3
	労働災害	41	4	22	11	4					
	運動競技	39	7	24	4	4					
	一般負傷	507	137	216	116	36		1			1
	加害	11	1	5	2	3					
	自損	29	4	13	8	4					
	急病	2,361	682	885	639	145		8	1		1
	転院搬送	233	34	7	37	155					
	医師搬送	0									
	資材搬送	0									
	その他	27	10	9	2	6					
小計	3,471	886	1,350	838	380	0	9	2	0	6	
救助	火災	0									
	交通事故	19	3	11	3	2					
	水難事故	3	1			2					
	自然災害	6		3		3					
	機械事故	4		2	1	1					
	建物事故	0									
	ガス・酸欠	0									
	その他	10	2	3	1	4					
小計	42	6	19	5	12	0	0	0	0	0	
警戒	自火報発報	31	11	9	1	10					
	怪煙調査	24	2	9		13					
	油漏れ	9		5	1	2			1		
	ガス漏れ	1				1					
	自然災害	3				3					
	異臭調査	2				2					
	その他	21	4	7	3	7					
小計	91	17	30	5	38	0	0	1	0	0	
その他	病院紹介	23	6	8	9						
	問い合わせ	283	38	168	75						2
	誤報	22	11	8	3						
	いたづら	25	3	17	5						
	119試験	272	191	27	51						3
	通報訓練	445	244	24	177						
	重複	152	28	94	28						2
	まちがい	179	45	117	16						1
	取り消し	57	14	27	16						
その他	749	110	454	185							
小計	2,207	690	944	565	0	0	0	0	0	8	
転送	舞鶴転送	0									
	綾部転送	18		17	1						
	中部転送	7	1	5	1						
	宮津転送	1		1							
	丹波転送	5	1	4							
	豊岡転送	1		1							
	南但転送	0									
	篠山転送	1		1							
小計	33	2	29	2	0	0	0	0	0	0	
合計	5,882	1,602	2,388	1,418	436	0	12	3	9	14	

月別指令状況

(平成30年中)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	1	3	9	5	6	1	5	3	0	1	3	1	38
救急	352	319	299	242	253	252	369	311	248	263	263	300	3,471
救助	0	1	9	2	3	1	11	2	3	4	2	4	42
警戒	10	3	8	6	5	2	18	10	7	8	6	8	91
合計	363	326	325	255	267	256	403	326	258	276	274	313	3,642



ドクターヘリ要請件数

(平成30年中)

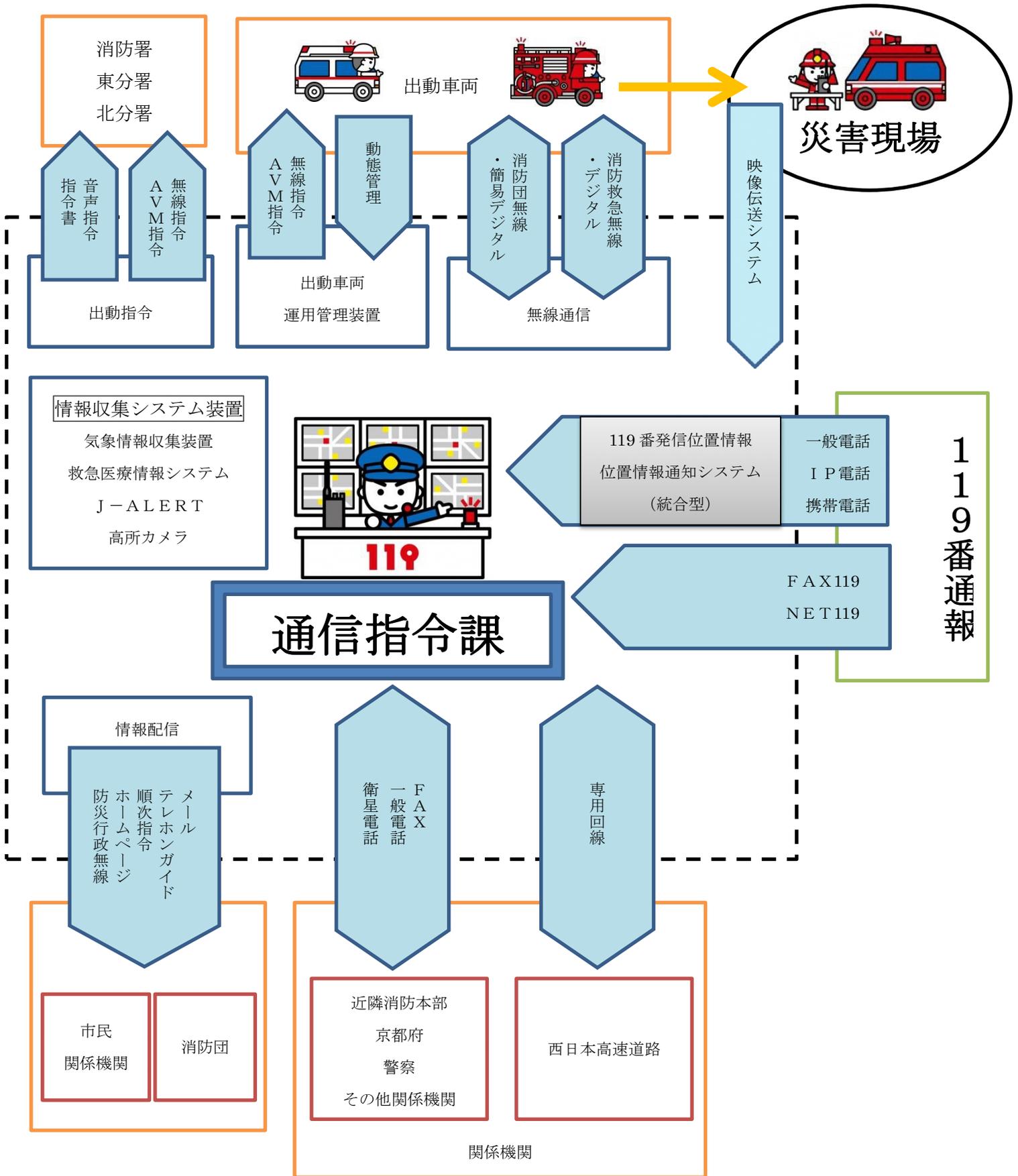
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	0	1	3	0	3	0	2	1	1	1	4	2	18

消防通信施設の現況

(平成31年 4月 1日)

名称	数	備考
通報受付回線		
119番回線数 (固定・IP)	2回線	I S D N回線 計4 C H
119番回線数 (携帯)	2回線	I S D N回線 計2 C H
衛星回線 (119迂回回線)	2回線	
I P - V P N回線	2回線	位置情報通知システム用
携帯転送用	1回線	I S D N回線
西日本高速道路 (舞鶴若狭自動車道)	1回線	専用回線
情報連絡回線		
順次指令回線	3回線	アナログ回線 I S D N回線 計3回線
災害状況等自動案内	6回線	
携帯電話	12台	
消防救急無線		
基地局	4局	烏ヶ岳基地局、三和基地局、夜久野基地局 三岳基地局
使用無線波 (デジタル無線)	6波	活動波1・2 主運用波 統制波1・2・3
消防団無線		
基地局・中継局	5局	消防防災センター基地局、三和基地局、夜久野基地局 大江基地局、夜久野中継局 (簡易デジタル無線)
指令システム主要装置		
指令台	2台	
指揮台	1台	
表示盤	1式	55インチ液晶ディスプレイ 12面
無線統制台	1台	
署所施設	3式	署所端末、指令情報出力装置及び署所端末用受令機
気象情報収集装置	1式	
災害状況等自動案内	1台	
順次指令装置	1式	
出動車両運用管理装置 (1) 経路検索装置 (2) 車両運用端末装置	1式 20式	車外設定端末装置は10式
位置情報通知システム	1式	統合型
N E T 119受信装置	1式	
F A X 119受信装置	1式	
高所監視カメラ	2式	
映像伝送システム	1式	車載2 可搬3 ハンディ3
Eメール指令装置	1式	
ホームページ	1式	
情報共有表示盤	7式	50インチ液晶ディスプレイ
消防O A	14台	W e bサーバ方式
防災行政無線等集中制御装置	1式	防災行政無線接続・連動用
総合行政情報システム接続装置	1式	
その他のシステム		
防災行政無線	1式	遠隔制御卓・可搬型
京都府医療情報端末装置	1式	タブレット端末
京都府衛星電話	1台	
J - A L E R T	1式	

消防通信指令系統図



【消防団】

消防団の沿革

(平成 31 年 4 月 1 日)

○昭和 22 年 11 月 1 日	消防団令の制定交付により警防団を廃止。福知山市消防団が結成される 団長 吉田庄兵衛 就任 【消防団の勢力】6 分団（惇明・昭和・大正・雀部・庵我・修齊） 団員 697 名、ポンプ車 6 台、手引ガソリンポンプ 12 台
○昭和 23 年 8 月 12 日	団長 石坪一久 就任
○昭和 24 年 4 月 1 日	3 村合併（西中筋村・下川口村・上豊富村）により 9 分団となり、消防団員条例定数 1,000 人、実員 1,123 人となる。 ポンプ車 5 台、ガソリンポンプ 21 台、腕用ポンプ 45 台の消防力となる
〃 10 月 1 日	惇明・昭和分団が統合し、中央分団と名称を変更 消防団員条例定数 1,000 人、実員 1,053 人
○昭和 30 年 4 月 1 日	8 村合併（上六人部村・中六人部村・下六人部村・上川口村・金谷村・三岳村・金山村・雲原村）により、分団数 16、消防団員条例定数及び実員 1,850 人、ポンプ車 7 台、手引ポンプ 45 台、可搬動力ポンプ 18 台、腕用ポンプ 60 台の消防力となる
〃 4 月 6 日	団長 足立秀夫 就任
〃 9 月 30 日	上豊富分団が京都府知事表彰調査を受検し、12 月 22 日に表彰旗を授与された
○昭和 31 年 9 月 30 日	何鹿郡佐賀村が、福知山市と綾部市に分村合併 【消防団の管轄区域】面積 264.24k m ² 、人口 63,220 人 【消防団の勢力】17 分団、定員 1,780 人、実員 1,775 人 ポンプ車 8 台、手引ポンプ 43 台、可搬ポンプ 23 台、腕用ポンプ 60 台
○昭和 33 年 3 月 7 日	自治体消防発足 10 周年記念式典並びに大火想定演習を市街地で実施
〃 7 月 1 日	団長 藤原定治 就任
○昭和 35 年 11 月 20 日	上川分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12 月 1 日表彰旗を授与された
○昭和 37 年 1 月 6 日	上六分団、中六分団、金山分団に婦人消防隊が結成される
〃 4 月 8 日	金谷分団に婦人消防隊が結成される
○昭和 38 年 4 月 1 日	団長 今川武左エ門 就任
○昭和 40 年 10 月 1 日	消防団員条例定数 1,400 人、実員 1,388 人
○昭和 42 年 4 月 1 日	団長 芦田太郎 就任
○昭和 44 年 4 月 1 日	【消防団の勢力】17 分団、定員 1,400 人、実員 1,359 人 消防ポンプ自動車 9 台、手引ポンプ 8 台、小型動力ポンプ 65 台
○昭和 45 年 7 月 3 日	消防団の機動化と近代化のため、小型動力ポンプ付積載車の配置を開始 西中分団、修齊分団、上六分団へ各 1 台配置
〃 10 月 5 日	下川分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12 月 1 日表彰旗を授与された
○昭和 46 年 11 月 1 日	下川婦人消防隊結成、隊員 47 名
○昭和 48 年 4 月 1 日	団長 森下文男 就任

○昭和 51 年 6 月 14 日 昭和 52 年 4 月 1 日	消防団本部を市役所庁舎へ移す（住所 福知山市字内記 13 番地の 1） 団長 大槻増次 就任
○昭和 53 年 8 月 22 日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に庵我分団が出場し準優勝の成績を収める
○昭和 54 年 3 月 5 日	福知山市消防本部、消防団に災害の防除と消防力の強化に努め、成績優秀であるという理由で消防庁長官の竿頭綬を授与された
〃 4 月 1 日	福知山市消防団互助会制度を発足、弔慰金、見舞金の給付制度を設ける
○昭和 55 年 11 月 9 日	庵我分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12 月 1 日に表彰旗を授与された
○昭和 56 年 4 月 1 日	団長 高橋昭治 就任
○昭和 57 年 10 月 31 日	西中分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 58 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○昭和 60 年 5 月 30 日	消防団本部の円滑な運営と各分団の消防技術の向上を図るため、消防団本部要員制度を設ける
〃 8 月 8 日	日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車の寄贈を受け、西中分団へ配置
〃 10 月 6 日	消防庁長官表彰を受検 於 市民第 2 グラウンド
	人 員 消防職員 85 名
	消防団員 1,348 名
	婦人消防隊 40 名
車 両	ポンプ車 10 台
	積載車 36 台
	小型動力ポンプ 34 台
○昭和 61 年 3 月 5 日	消防庁長官より表彰旗が授与された
〃 5 月 1 日	団長 吉竹 孝一郎 就任
〃 9 月 28 日	雀部分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 62 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○昭和 62 年 10 月 1 日	下六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 63 年 1 月 1 日に表彰旗が授与された
○昭和 63 年 10 月 13 日 ～19 日	京都国体警備。内福知山市分 16～19 日
〃 10 月 26 日	金谷婦人消防隊が全国婦人消防操法大会（横浜市）出場
〃 10 月 30 日	大正分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 64 年 1 月 1 日に表彰旗が授与された
○平成 元年 10 月 15 日	上六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 2 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 2 年 5 月 1 日	団長 関 宏躬 就任
〃 10 月 21 日	修齊分団と金谷分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 3 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 3 年 4 月 1 日	消防団員条例定数 1,250 人、実員 1,214 人となる
〃 10 月 13 日	三岳分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 4 年 1 月 1 日表彰旗が授与された

○平成 4年 8月 31日 " 11月 1日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に下六分団が出場し、第6位の成績を収める 佐賀分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成5年1月1日表彰旗が授与された
○平成 5年 10月 31日	中六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成6年1月1日表彰旗が授与された
○平成 6年 5月 1日 " 8月 30日 " 10月 30日	団長 衣川 武 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団が出場し、準優勝の成績を収める 雲原分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成7年1月1日表彰旗が授与された
○平成 7年 11月 12日	金山分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成8年1月1日表彰旗が授与された
○平成 8年 7月 1日 " 7月 25日 " 10月 13日	消防団員アルミックス防火衣を129着分支給 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団が出場し、奨励賞の成績を収める 中央分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成9年1月1日表彰旗が授与された
○平成 9年 9月 1日 " 10月 12日	消防団員アルミックス防火衣を185着分支給 市制60周年(団発足50周年)記念事業(消防フェア福知山)開催
○平成 10年 8月 7日 " 12月 10日 ~21日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に大正分団が出場 消防団に関する意識調査実施
○平成 11年 7月 1日 " 9月 9日	福知山市消防団活性化対策検討委員会規約制定 「より魅力ある消防団へ」検討委員会発足
○平成 12年 5月 1日 " 8月 6日 " 11月 23日	団長 井上重典 就任 京都府消防操法大会小型ポンプの部に金谷分団が出場し、第5位の成績を収める アポロキャップを購入し、全団員に貸与
○平成 13年 10月 1日	「ふくちやまファイヤーエンジェルス」福知山消防カラーガード隊17人、福知山消防ファイヤーガード隊13人で発足
○平成 14年 1月 24日 " 5月 1日 " 8月 4日 " 10月 27日	「ふくちやまファイヤーエンジェルス」が京都府知事を表敬訪問 団長 野田和則 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に雲原分団が出場 京都府知事優良消防団表彰調査を受検し平成15年2月2日に表彰旗が授与された
○平成 15年 11月 20日	自治体消防55周年記念大会参加
○平成 16年 5月 1日 " 8月 1日	団長 岸田正一 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に庵我分団が出場
○平成 18年 1月 1日	一市三町合併により、三和町消防団、夜久野町消防団及び大江町消防団を統合、新しい「福知山市消防団」となる
	【消防団の勢力】

	<p>団 長 岸田正一 団本部ほか 29 分団、定員 2,160 人、実員 2,065 人 消防ポンプ自動車 12 台 小型動力ポンプ付積載車 11 台 小型動力ポンプ付軽積載車 77 台 小型動力ポンプ 89 台</p>
○平成 18 年 8 月 6 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、大正・川合・上夜久野・河西分団が出場
○平成 19 年 10 月 14 日	市制施行 70 周年、福知山市消防団発足 60 周年及び救急業務運用開始 40 周年記念事業（消防防災フェア）開催 活動服を更新し、消防防災フェアで着用
○平成 20 年 4 月 1 日	団長 足立秀幸 就任
〃 7 月 27 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、佐賀分団が出場
○平成 22 年 4 月 1 日	団長 山田浩和 就任
〃 7 月 1 日	三和支所、夜久野支所、大江支所に支所消防隊を設置
〃 8 月 1 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、河守分団が出場
〃 9 月 18 日	総務省消防庁より雲原分団に救助資機材搭載型車両（多機能型消防車両）の無償貸与を受ける
○平成 24 年 3 月 21 日	「新 福知山市消防団活性化計画」を策定
〃 5 月 1 日	消防団本部を福知山市東羽合町 46 番地の 1「福知山市消防防災センター」に移す
〃 8 月 5 日	京都府消防操法大会ポンプ車の部及び小型ポンプの部に、大正分団が出場
○平成 25 年 4 月 1 日	金山分団及び川合分団に機能別消防団員が発足
〃 10 月 20 日	細見分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 26 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
〃 11 月 25 日	消防団 120 年・自治体消防 65 周年記念大会参加
○平成 26 年 2 月 9 日	京都府知事から、消防団 120 年・自治体消防制度 65 周年記念知事表彰が授与された
〃 2 月 15 日	総務省消防庁より河守分団に消防ポンプ付き軽自動車両（多機能型消防車両）の無償貸与を受ける
〃 3 月 4 日	総務省消防庁より消防団拠点資材等セッター式の無償貸与を受ける
〃 4 月 1 日	団長 塩見辰也 就任
〃 8 月 3 日	三岳分団に機能別消防団員が発足 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団、小型ポンプの部に河守上分団が出場し、上川分団が第 3 位の成績を収める
○平成 27 年 4 月 1 日	消防団簡易デジタル無線運用開始
〃 11 月 25 日	平成 26 年 8 月豪雨災害時の水防活動が評価され、国土交通大臣より水防功労者表彰が授与された
○平成 28 年 4 月 1 日	団長 片岡幸基 就任
〃 7 月 31 日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に細見分団、小型ポンプの部に佐賀分団が出場
〃 9 月 12 日	平成 26 年 8 月豪雨災害時の水防活動が評価され、内閣総理大臣より防災功労者表彰が授与された
○平成 29 年 10 月 21 日	ふくちやまファイヤーエンジェルスが、京都府知事から京都府あけぼの賞を授与された
〃 12 月 5 日	公益財団法人日本消防協会より消防団防災学習・災害活動車両の寄贈を受ける

○平成 30 年 2 月 8 日	平成 29 年 10 月台風 21 号時の水防活動が評価され、国土交通大臣より水防功労者表彰が授与された
〃 4 月 1 日	団長 池澤 徹 就任
〃 7 月 29 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に佐賀分団が出場
〃 9 月 18 日	平成 29 年 10 月台風 21 号時の水防活動が評価され、内閣総理大臣より防災功労者表彰が授与された
平成 31 年 3 月 5 日	公益財団法人日本消防協会優良消防団表彰「特別表彰まとい」を受賞

消防団員・消防団車両配置表

(平成31年4月1日)

ブロック	分団名	人 員											車 両 等						
		合計	団長	※副団長	分団長	副分団長	本部長	指導部長	本部班長	部長	班長	団員	ポンプ車	積載車	軽積載車	その他の車両	小型ポンプ		
	団本部	7	1	6														1	
ファイヤーエンジェルス	ファイヤーガード隊	8											1	1	6				
	カラーガード隊	8											1	1	7				
中部	中央	71		1	1	1	1	1	2	6	12	47		6					
	大正	44		1	1	1	1	1	1	2	4	33		2					
	庵我	76		1	1	1	1	1	1	3	7	61		3					
	修斉	87		1	1	1	1	1	1	4	11	67		4	1				
	上豊	95		1	1	1	1	1	1	2	6	82		3					
東部	雀部	52		1	1	1	1	1	1	3	3	41		3					
	西中	78		1	1	1	1	1	1	5	5	63		4	1				
	上六	49		1	1	1	1	1	1	3	6	35		3					
	中六	51		1	1	1	1	1	1	2	6	38		2					
	下六	68		1	1	1	1	1	1	5	5	53		4	1				
北部	佐賀	43		1	1	1	1	1	1	2	4	32		2					
	下川	41		1	1	1	1	1	1	2	6	28		2					
	上川	58		1	1	1	1	1	1	2	6	45		3					
	金谷	48		1	1	1	1	1	1	2	6	35		2					
	三岳	39		1	1	1	1	1	1	2	4	28		2					
	機能別消防団	14										14							
	金山	38		1	1	1	1	1	1	3	6	24		3					
三和	機能別消防団	22										22							
	雲原	39		1	1	1	1	1	1	2	3	29		2					
	菟原	82		1	1	1	1	1	1	4	4	69		4					
	細見	81		1	1	1	1	1	1	5	6	65		5					
	川合	25		1	1	1	1	1	1	3	3	14		3					
夜久野	機能別消防団	11										11							
	三和支所消防隊	8										8		1					
	上夜久野	72		1	1	1	1	1	1	4	9	54	1	4	1				
	中夜久野	44		1	1	1	1	1	1	2	4	33		2					
大江	下夜久野	51		1	1	1	1	1	1	3	6	37		3					
	夜久野支所消防隊	7										7							
	河守	79		1	1	1	1	1	1	4	10	60		2	2				
	河守上	54		1	1	1	1	1	1	3	6	40		2	1				
	河西	40		1	1	1	1	1	1	2	4	29		1	1				
	河東	48		1	1	1	1	1	1	2	6	35		1	1				
	有路上	52		1	1	1	1	1	1	2	4	41		2					
有路下	43		1	1	1	1	1	1	2	4	32		1	1					
大江支所消防隊	7										7		1						
合計		1,740	1	6	29	29	29	29	30	87	168	1,332	1	82	10				

※ 団本部の副団長は、各ブロックを担当

年齢別消防団員数

(平成31年4月1日)

年齢別	合計	平均	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上
人員	1,740	42.55	1	103	502	820	264	50

在職年数別消防団員数

(平成31年4月1日)

年数別	合計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
人員	1,740	289	382	291	372	208	123	75

【水 防】

水防の概要

第1 市域を流れる河川

市域を流れる河川で、国、府および市が管理する河川（普通河川）は次のとおりです。

			(平成24年4月1日現在)
国が管轄するもの（1級河川）	2河川	}	旧夜久野 78河川
府が管轄するもの（1級河川）	49河川		旧大江 64河川
市が管轄するもの（準用、普通河川）	379河川		旧三和 91河川
	延 430河川		旧福知山 146河川
			延 379河川

第2 由良川水系の現況

由良川は、京都、滋賀および福井の府県境三国ヶ岳に源を発し、南丹市、京丹波町および綾部市の山間部、福知山盆地を経て日本海に注ぐ河川で、高屋川、上林川、土師川などと合流し、その流域面積は京都府と兵庫県にまたがり、1,882 km²におよびます。由良川水系の治水と利用についての意義は、丹波地域においてきわめて大きくなっています。

第3 現状の課題と方針

由良川の改修事業は、昭和22年に国の直轄事業として着手されて以来進められ、平成16年の台風23号を契機とした「由良川下流部緊急水防災対策事業」が平成27年度末に完了する一方、平成25年の台風18号を契機とした「由良川緊急治水対策事業」や平成26年の8月豪雨をふまえた「総合的な治水対策」の早期実施による、水害に強い地域づくりの更なる推進が課題となっています。

特に「総合的な治水対策」として国土交通省、京都府および福知山市が設立した「由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策協議会」では、内水氾濫の被害をふまえ河川管理者と下水道管理者が一体となって総合的な治水対策案を取りまとめ、平成27年度に内水ハザードマップの作成（福知山市）を完了するとともに、今後も引き続き排水機場の整備や排水ポンプ車ピット新設（国土交通省）、調節地の整備や河川改修（京都府）、雨水貯留施設の整備や各家庭への貯留浸透施設の設置促進（福知山市）など、国・府・市が一体となって総合内水対策を実施することとしています。

第4 水害の特徴

福知山市における水害として、由良川などの堤防破堤や溢流による外水氾濫と、内水排除ができない場合に生じる内水氾濫があります。

福知山市が位置する福知山盆地の標高は非常に低く、由良川と牧川の合流点付近で

は標高12mに過ぎません。したがって、由良川などの堤防が決壊した場合には、市街地全域にわたる浸水被害が生じる危険があります。このような破堤による外水氾濫では、水位が急激に上昇するため人的被害および建物被害などが生じる危険性が高く、さらに水位が低下するまでに長時間を要し、破堤箇所が修復されるまで再度浸水する危険にさらされるなど、被害の拡大と長期化が予想されます。

一方、内水氾濫の被害が起こりうるのは、河川の氾濫などでできた低地地形や周りから水が集まりやすい凹地などです。すなわち低地の微地形でいうと、谷底平野、氾濫平野、後背湿地および旧河道などです。このような地形では、雨水が集まりやすく水害の危険性は高くなります。

第5 近年の水害の記録

平成16年の台風23号では、総雨量279mm由良川水位も最高水位 7 m55cmを記録、さらに平成25年の台風18号では、総雨量216mm、由良川最高水位 8 m30cmを記録、由良川流域の広範囲において浸水し、家屋、耕地および主要道路の浸水などの被害が多く出るとともに、山間部においては崖崩れが生じました。

平成26年8月豪雨では、福知山市で24時間雨量が300mmを超え、平年の8月の1か月雨量の約2.5倍に達し、由良川では一時的に氾濫危険水位を超過しました。また、内水氾濫により市街地を中心に広い範囲で冠水し、約4,500戸が浸水するとともに、土砂災害も多く発生しました。福知山市は、市の全域約8万人に避難勧告を発表し、陸上自衛隊も救援に出動しました。さらにこの大雨によって、JR福知山線と山陰線が寸断されるなど、社会的影響度も非常に大きなものとなりました。

平成29年の台風21号では、総雨量200mm由良川水位も最高水位 7 m39cmを記録、道路の冠水により由良川流域の一部地域が一時的に孤立するなど、甚大な被害が生じました。

昨年の7月豪雨では、大雨特別警報が発表され、7月5日から7日にかけて広範囲に降雨があり、総雨量は439mm、由良川水位は氾濫危険水位を超え6.52mを記録し、平成26年の8月豪雨と同じく、都市の排水機能を超過した内水氾濫により広範囲の市街地に浸水被害をもたらし、林地保水力の限界を超えた山では、多くの土砂災害が発生しました。

【主な水害の記録】

明治 29 年 8 月 31 日	水 位 7.88m	死傷者 200 名
	倒壊流失家屋 371 戸	
明治 40 年 8 月 26 日	水 位 8.48m	倒壊流失家屋 350 戸
大正 10 年 9 月 26 日	水 位 7.36m	死傷者 7 名
	倒壊流失家屋 67 戸	浸水家屋 3,058 戸

昭和5年8月1日	水位 7.12m 倒壊流失家屋 30戸 浸水家屋 3,006戸
昭和20年10月9日 (阿久根台風)	水位 6.00m 死傷者 5名 総雨量 95.0mm 倒壊流失家屋 111戸 浸水家屋 5,083戸
昭和28年9月25日 (台風13号)	水位 8.10m 死傷者 792名 総雨量 254.3mm 倒壊流失家屋 1,664戸 浸水家屋 3,836戸
昭和34年9月26日 (伊勢湾台風)	水位 7.10m 負傷者 26名 総雨量 243.0mm 倒壊流失家屋 113戸 浸水家屋 5,117戸
昭和36年9月16日 (第二室戸台風)	総雨量 43.0mm 死傷者 9名 倒壊家屋 76戸 浸水家屋 19戸
平成16年10月20日 ~21日(台風23号)	水位 7.55m 総雨量 279.0mm 倒壊家屋(半壊、一部損壊) 63戸 浸水家屋 844戸
平成25年9月16日 (台風18号)	水位 8.30m 総雨量 216.0mm 倒壊家屋(全壊、半壊) 332戸 浸水家屋 423戸
平成26年8月16日 ~17日(8月豪雨)	水位 6.48m 総雨量 335.5mm 倒壊家屋(全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊) 4,253戸 浸水家屋 4,500戸 死者 1名 負傷者 1名
平成29年10月21日 ~23日(台風21号)	水位 7.39m 総雨量 200.0mm 倒壊家屋(半壊、一部破損) 23戸 浸水家屋 325戸
平成30年7月5日 ~7日(7月豪雨)	6日22:50 大雨特別警報発表 水位 6.52m 総雨量 439.0mm 倒壊家屋(全壊、半壊) 54戸 浸水家屋 1,161戸 負傷者 1名 【雨量記録】 ■日最大1時間降水量 7日午前1時00分 60.0mm ■日降水量 7日 199.0mm 歴代2位を記録(統計開始1976年) ■日最大10分間降水量 7日 23.0mm 歴代3位を記録(統計開始1976年)

水防組織

第1 水防本部の組織

- 1 水防本部は、市長を本部長、副市長を副本部長とし、組織は福知山市災害対策本部規程を準用し、水防本部組織図のとおりとする。
- 2 消防部は、消防本部および消防団本部をもって指揮班、消防署および消防団をもって消防（水防）班を編成し、各分団は水防中隊とする。
- 3 指揮班の任務
 - (1) 災害の予防対策
 - (2) 災害情報の収集
 - (3) 災害信号の発令および周知
 - (4) 被害状況の速報
 - (5) 市防災無線の運用
 - (6) 災害の場合における消防団活動の調整および指示
- 4 消防（水防）班の任務
 - (1) 災害の場合における消防団活動の調整および指示
 - (2) 避難者の誘導
 - (3) 人命および財産の保護
 - (4) 不明者の搜索
 - (5) 水防作業員資材および避難者の輸送運搬
 - (6) 水防資材の整備および調査
 - (7) 消防資材および施設の整備点検

【水防本部組織図】 (平成31年3月31日現在)



平成 30 年版 消 防 年 報

〒620-0933 京都府福知山市東羽合町 46 番地の 1
福知山市消防本部

TEL 0773-24-0119

FAX 0773-22-5458

URL <http://119.city.fukuchiyama.kyoto.jp>

e-mail syoubou@city.fukuchiyama.lg.jp